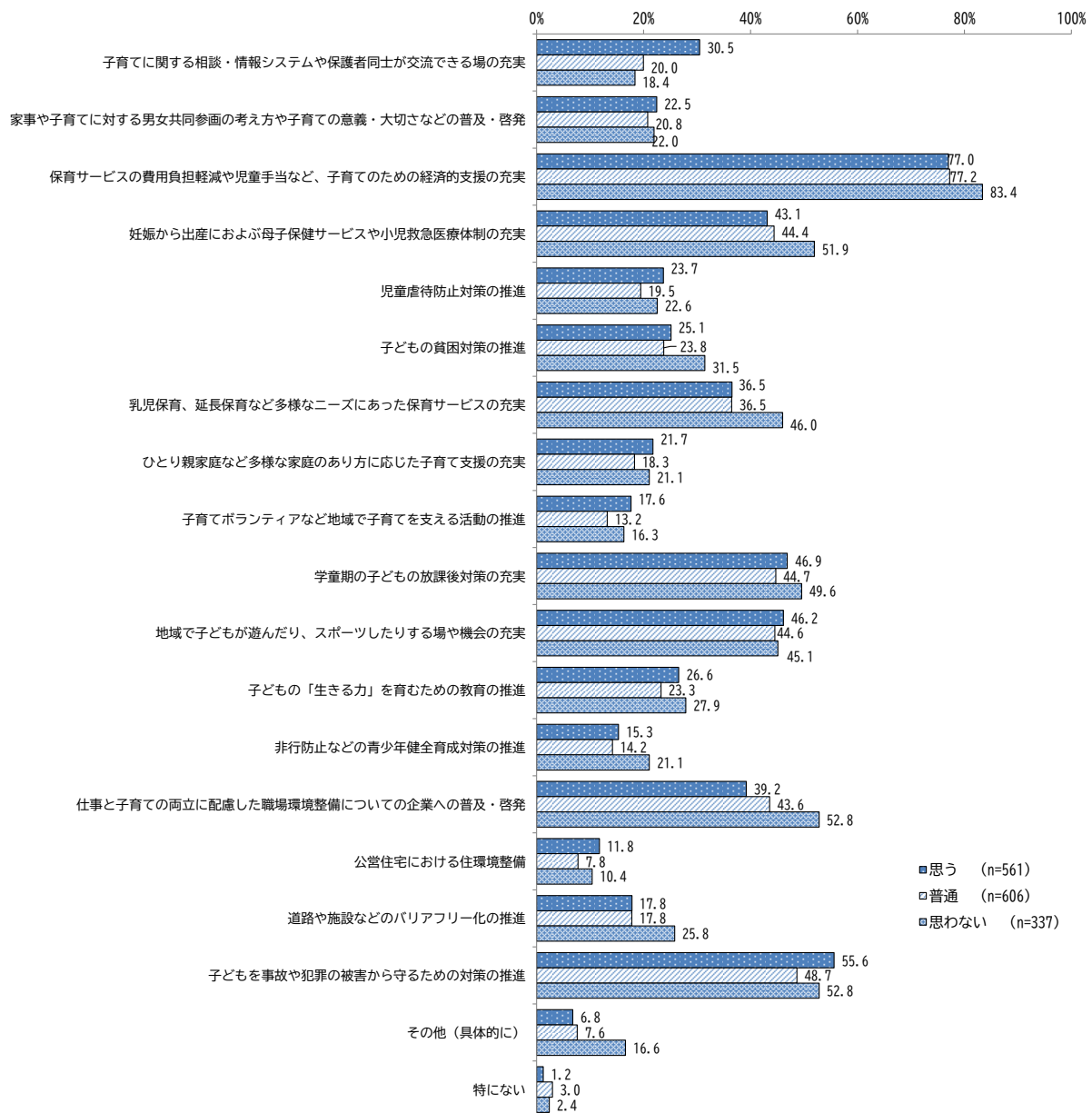


1. 子育てに関するアンケート調査【就学前児童保護者、小学生保護者】

(1) 必要だと思う子育て支援策

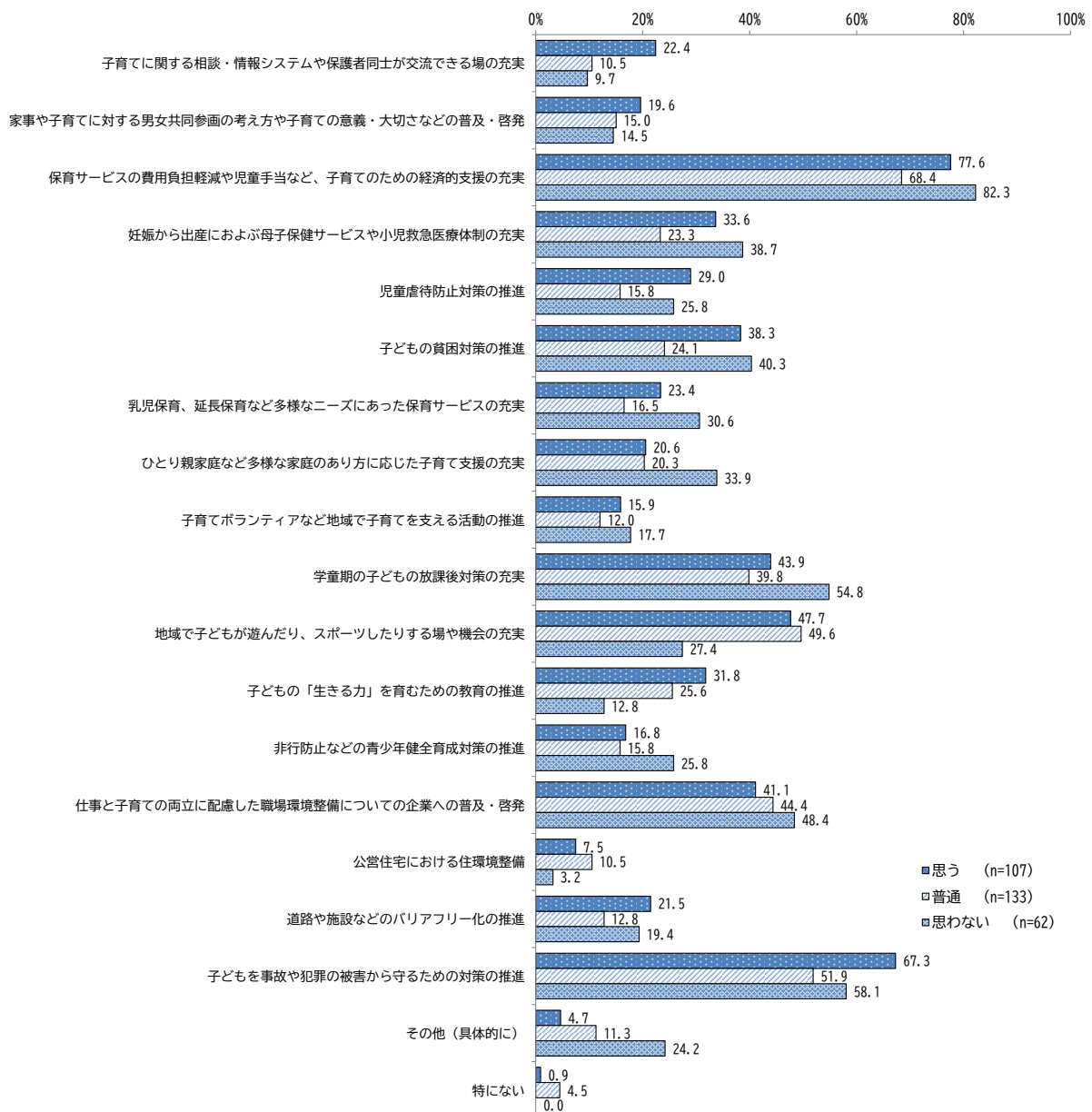
問 30 子どもを健やかに生み育てるために、飯塚市にどのようなことを期待しますか。

- 就学前児童保護者が必要だと思う子育て支援策について問 28「飯塚市が子育てしやすいまち」に関する設問の回答者群で分類した。「どちらかといえば思わない」「思わない」を合わせた回答者群では、「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援の充実」の割合が83.4%、「仕事と子育ての両立に配慮した職場環境整備についての企業への普及・啓発」の割合が52.8%、「妊娠から出産におよぶ母子保健サービスや小児救急医療体制の充実」の割合が51.9%、「乳児保育、延長保育など多様なニーズにあった保育サービスの充実」の割合が46.0%と他の回答者群よりも高くなっている。



問 15 子どもを健やかに生み育てるために、飯塚市にどのようなことを期待しますか。

- 小学生保護者が必要だと思う子育て支援策について問 13「飯塚市が子育てしやすいまち」に関する設問の回答者群で分類した。「どちらかといえば思わない」「思わない」を合わせた回答者群では、「学童期の子どもの放課後対策の充実」の割合が 54.8%、「ひとり親家庭など多様な家庭のあり方に応じた子育て支援の充実」の割合が 33.9%、「乳児保育、延長保育など多様なニーズにあった保育サービスの充実」の割合が 30.6%、「非行防止などの青少年健全育成対策の推進」の割合が 25.8%と他の回答者群よりも高くなっている。



問 31 飯塚市の子ども・子育てに関する以下の取組にどの程度満足していますか。

- 就学前児童保護者における市の子ども・子育てに関する取り組みへの満足度について問 28「飯塚市が子育てしやすいまち」に関する設問の回答者群で分類した。まず、いずれの回答者群においても「子育てのための経済的支援」について、「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせた割合が最も高い。一方で、飯塚市が子育てしやすい町と考える層については「子育てに関する医療・保健体制の充実」に不満を感じる割合が他の層よりも多くみられた。

▼問 28 子育てしやすいまち「思う」「どちらかといえば思う」

	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	無回答	満足+どちらかといえば満足	不満+どちらかといえば不満
相談体制や情報提供の充実 (n=561)	9.6	33.0	52.2	3.0	0.5	1.6	42.6	3.6
家事や子育てに関する意識啓発 (n=561)	8.4	24.2	61.7	2.7	0.7	2.3	32.6	3.4
子育てのための経済的支援 (n=561)	9.1	24.8	41.0	15.7	7.7	1.8	33.9	23.4
子育てに関する医療・保健体制の充実 (n=561)	12.7	29.1	44.2	8.9	3.2	2.0	41.7	12.1
保育サービスの確保・充実 (n=561)	8.2	18.7	52.6	14.4	3.6	2.5	26.9	18.0
家庭状況に応じた子育て支援の充実 (n=561)	6.1	14.8	68.1	5.2	1.6	4.3	20.9	6.8
地域で子育てを支える活動の推進 (n=561)	7.3	15.9	67.4	4.6	1.2	3.6	23.2	5.9
放課後児童対策の充実 (n=561)	6.8	13.4	63.6	8.6	1.4	6.2	20.1	10.0
いじめや不登校等への対応の充実 (n=561)	4.3	10.0	71.3	6.2	1.6	6.6	14.3	7.8
児童の状況に応じたきめ細やかな学校教育の充実 (n=561)	5.7	11.8	66.8	7.0	2.1	6.6	17.5	9.1
遊び場や文化・スポーツ・体験活動等の機会の提供 (n=561)	7.0	17.3	54.5	13.5	3.0	4.6	24.2	16.6
青少年健全育成対策の推進 (n=561)	4.5	9.3	74.3	4.8	0.9	6.2	13.7	5.7
子育てにやさしい生活環境の整備 (n=561)	7.3	19.1	57.2	11.9	1.8	2.7	26.4	13.7
子どもを犯罪・事故から守る対策 (n=561)	5.7	12.3	64.5	9.4	3.2	4.8	18.0	12.7

▼問 28 子育てしやすいまち「普通」

	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	無回答	満足+どちらかといえば満足	不満+どちらかといえば不満
相談体制や情報提供の充実 (n=606)	0.8	5.9	82.7	7.3	1.3	2.0	6.8	8.6
家事や子育てに関する意識啓発 (n=606)	0.5	6.3	82.3	6.8	1.7	2.5	6.8	8.4
子育てのための経済的支援 (n=606)	1.3	9.6	39.9	31.4	16.2	1.7	10.9	47.5
子育てに関する医療・保健体制の充実 (n=606)	3.6	10.1	60.1	16.7	7.4	2.1	13.7	24.1
保育サービスの確保・充実 (n=606)	0.8	7.3	63.4	20.0	6.3	2.3	8.1	26.2
家庭状況に応じた子育て支援の充実 (n=606)	1.0	3.1	82.8	6.6	2.8	3.6	4.1	9.4
地域で子育てを支える活動の推進 (n=606)	0.2	2.6	87.3	5.1	1.8	3.0	2.8	6.9
放課後児童対策の充実 (n=606)	0.3	5.4	75.2	12.2	3.1	3.6	5.8	15.3
いじめや不登校等への対応の充実 (n=606)	0.2	1.8	83.3	7.6	2.8	4.3	2.0	10.4
児童の状況に応じたきめ細やかな学校教育の充実 (n=606)	0.5	2.5	79.9	9.4	3.0	4.8	3.0	12.4
遊び場や文化・スポーツ・体験活動等の機会の提供 (n=606)	0.3	3.0	65.7	21.6	5.8	3.6	3.3	27.4
青少年健全育成対策の推進 (n=606)	0.3	1.8	86.6	4.5	1.7	5.1	2.1	6.1
子育てにやさしい生活環境の整備 (n=606)	0.7	5.9	64.4	21.1	5.3	2.6	6.6	26.4
子どもを犯罪・事故から守る対策 (n=606)	0.3	2.0	72.9	16.2	4.8	3.8	2.3	21.0

▼問 28 子育てしやすいまち「思わない」「どちらかといえば思わない」

	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	無回答	満足+どちらかといえば満足	不満+どちらかといえば不満
相談体制や情報提供の充実 (n=337)	0.9	3.6	51.6	27.0	15.4	1.5	4.5	42.4
家事や子育てに関する意識啓発 (n=337)	1.5	4.2	59.6	22.8	10.1	1.8	5.6	32.9
子育てのための経済的支援 (n=337)	0.9	2.4	16.0	27.3	51.9	1.5	3.3	79.2
子育てに関する医療・保健体制の充実 (n=337)	1.5	6.8	39.5	25.2	25.8	1.2	8.3	51.0
保育サービスの確保・充実 (n=337)	1.2	1.5	39.2	30.3	26.1	1.8	2.7	56.4
家庭状況に応じた子育て支援の充実 (n=337)	0.9	2.4	64.7	15.4	14.2	2.4	3.3	29.7
地域で子育てを支える活動の推進 (n=337)	0.9	1.8	65.3	19.3	11.0	1.8	2.7	30.3
放課後児童対策の充実 (n=337)	1.8	3.0	52.5	21.7	18.7	2.4	4.7	40.4
いじめや不登校等への対応の充実 (n=337)	0.6	0.6	66.2	15.7	12.8	4.2	1.2	28.5
児童の状況に応じたきめ細やかな学校教育の充実 (n=337)	0.6	1.5	59.9	18.7	16.6	2.7	2.1	35.3
遊び場や文化・スポーツ・体験活動等の機会の提供 (n=337)	0.9	2.1	48.7	25.2	20.2	3.0	3.0	45.4
青少年健全育成対策の推進 (n=337)	0.9	0.6	73.0	11.3	10.4	3.9	1.5	21.7
子育てにやさしい生活環境の整備 (n=337)	0.6	3.0	45.1	30.9	19.0	1.5	3.6	49.9
子どもを犯罪・事故から守る対策 (n=337)	0.6	1.8	51.3	24.0	19.9	2.4	2.4	43.9

問 16 飯塚市の子ども・子育てに関する以下の取組にどの程度満足していますか。

- 小学生保護者においても同様に問 13「飯塚市が子育てしやすいまち」に関する設問の回答者群で分類した。就学前児童保護者と同じく、いずれの回答者群においても「子育てのための経済的支援」について、「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせた割合が最も高い。一方で、飯塚市が子育てしやすい町と考える層については「子育てにやさしい生活環境の整備」に不満を感じる割合が他の層よりも多くみられた。

▼問 13 子育てしやすいまち「思う」「どちらかといえば思う」

	満足	どちらかとい えは満足	普通	どちらかとい えは不満	不満	無回答	満足+どちらかとい えは満足	不満+どちらかとい えは不満
相談体制や情報提供の充実 (n=107)	3.7	29.0	57.9	4.7	2.8	1.9	32.7	7.5
家事や子育てに関する意識啓発 (n=107)	4.7	19.6	64.5	6.5	1.9	2.8	24.3	8.4
子育てのための経済的支援 (n=107)	7.5	17.8	37.4	27.1	9.3	0.9	25.2	36.4
子育てに関する医療・保健体制の充実 (n=107)	8.4	16.8	56.1	12.1	4.7	1.9	25.2	16.8
保育サービスの確保・充実 (n=107)	5.6	13.1	56.1	19.6	4.7	0.9	18.7	24.3
家庭状況に応じた子育て支援の充実 (n=107)	4.7	15.9	64.5	8.4	2.8	3.7	20.6	11.2
地域で子育てを支える活動の推進 (n=107)	4.7	20.6	62.6	8.4	0.9	2.8	25.2	9.3
放課後児童対策の充実 (n=107)	11.2	20.6	46.7	10.3	5.6	5.6	31.8	15.9
いじめや不登校等への対応の充実 (n=107)	5.6	13.1	66.4	9.3	0.9	4.7	18.7	10.3
児童の状況に応じたきめ細やかな学校教育の充実 (n=107)	5.6	18.7	55.1	15.9	1.9	2.8	24.3	17.8
遊び場や文化・スポーツ・体験活動等の機会の提供 (n=107)	4.7	19.6	56.1	13.1	4.7	1.9	24.3	17.8
青少年健全育成対策の推進 (n=107)	3.7	10.3	77.6	2.8	0.9	4.7	14.0	3.7
子育てにやさしい生活環境の整備 (n=107)	6.5	15.0	66.4	8.4	1.9	1.9	21.5	10.3
子どもを犯罪・事故から守る対策 (n=107)	6.5	12.1	57.9	16.8	2.8	3.7	18.7	19.6

▼問 13 子育てしやすいまち「普通」

	満足	どちらかとい えは満足	普通	どちらかとい えは不満	不満	無回答	満足+どちらかとい えは満足	不満+どちらかとい えは不満
相談体制や情報提供の充実 (n=133)	0.0	6.0	81.2	11.3	0.0	1.5	6.0	11.3
家事や子育てに関する意識啓発 (n=133)	0.8	5.3	83.5	7.5	1.5	1.5	6.0	9.0
子育てのための経済的支援 (n=133)	0.0	7.5	42.1	30.1	19.5	0.8	7.5	49.6
子育てに関する医療・保健体制の充実 (n=133)	0.8	9.0	65.4	20.3	3.0	1.5	9.8	23.3
保育サービスの確保・充実 (n=133)	0.8	2.3	70.7	18.8	5.3	2.3	3.0	24.1
家庭状況に応じた子育て支援の充実 (n=133)	0.8	3.8	74.4	15.0	4.5	1.5	4.5	19.5
地域で子育てを支える活動の推進 (n=133)	1.5	3.0	79.7	11.3	1.5	3.0	4.5	12.8
放課後児童対策の充実 (n=133)	2.3	7.5	64.7	21.1	3.0	1.5	9.8	24.1
いじめや不登校等への対応の充実 (n=133)	2.3	0.8	83.5	9.8	3.0	0.8	3.0	12.8
児童の状況に応じたきめ細やかな学校教育の充実 (n=133)	1.5	11.3	60.2	18.8	7.5	0.8	12.8	26.3
遊び場や文化・スポーツ・体験活動等の機会の提供 (n=133)	0.0	6.8	63.2	20.3	8.3	1.5	6.8	28.6
青少年健全育成対策の推進 (n=133)	0.0	3.0	88.0	4.5	1.5	3.0	3.0	6.0
子育てにやさしい生活環境の整備 (n=133)	0.8	6.0	75.2	15.0	1.5	1.5	6.8	16.5
子どもを犯罪・事故から守る対策 (n=133)	0.0	5.3	65.4	21.8	6.8	0.8	5.3	28.6

▼問 13 子育てしやすいまち「思わない」「どちらかといえば思わない」

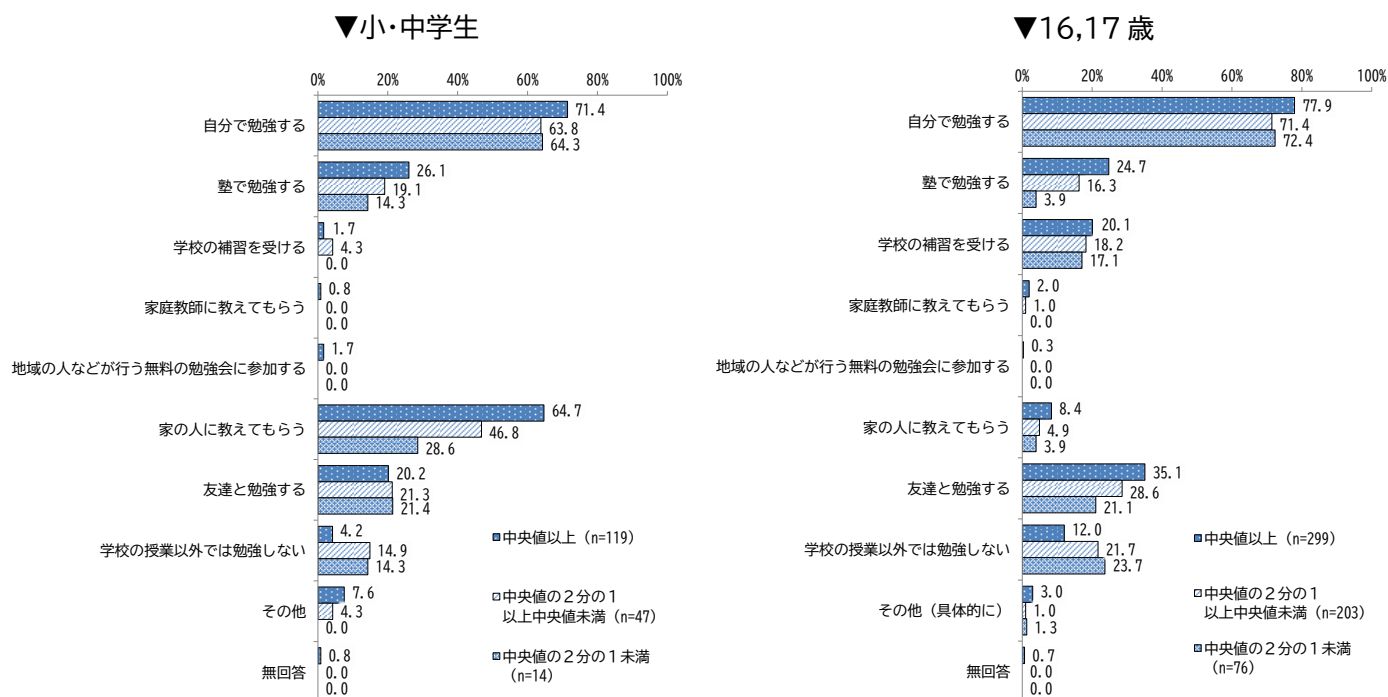
	満足	どちらかとい えは満足	普通	どちらかとい えは不満	不満	無回答	満足+どちらかとい えは満足	不満+どちらかとい えは不満
相談体制や情報提供の充実 (n=62)	0.0	4.8	61.3	16.1	12.9	4.8	4.8	29.0
家事や子育てに関する意識啓発 (n=62)	0.0	4.8	58.1	19.4	12.9	4.8	4.8	32.3
子育てのための経済的支援 (n=62)	0.0	3.2	19.4	32.3	40.3	4.8	3.2	72.6
子育てに関する医療・保健体制の充実 (n=62)	0.0	9.7	48.4	22.6	14.5	4.8	9.7	37.1
保育サービスの確保・充実 (n=62)	0.0	6.5	48.4	17.7	22.6	4.8	6.5	40.3
家庭状況に応じた子育て支援の充実 (n=62)	1.6	3.2	51.6	24.2	14.5	4.8	4.8	38.7
地域で子育てを支える活動の推進 (n=62)	0.0	1.6	64.5	19.4	9.7	4.8	1.6	29.0
放課後児童対策の充実 (n=62)	0.0	4.8	46.8	25.8	17.7	4.8	4.8	43.5
いじめや不登校等への対応の充実 (n=62)	0.0	1.6	58.1	24.2	9.7	6.5	1.6	33.9
児童の状況に応じたきめ細やかな学校教育の充実 (n=62)	1.6	8.1	40.3	27.4	14.5	8.1	9.7	41.9
遊び場や文化・スポーツ・体験活動等の機会の提供 (n=62)	0.0	3.2	45.2	27.4	16.1	8.1	3.2	43.5
青少年健全育成対策の推進 (n=62)	0.0	0.0	67.7	16.1	8.1	8.1	0.0	24.2
子育てにやさしい生活環境の整備 (n=62)	0.0	3.2	41.9	35.5	12.9	6.5	3.2	48.4
子どもを犯罪・事故から守る対策 (n=62)	0.0	3.2	41.9	32.3	16.1	6.5	3.2	48.4

2. 子どもの生活実態調査【小・中学生、16,17 歳】

(1) 子どもたちの学び

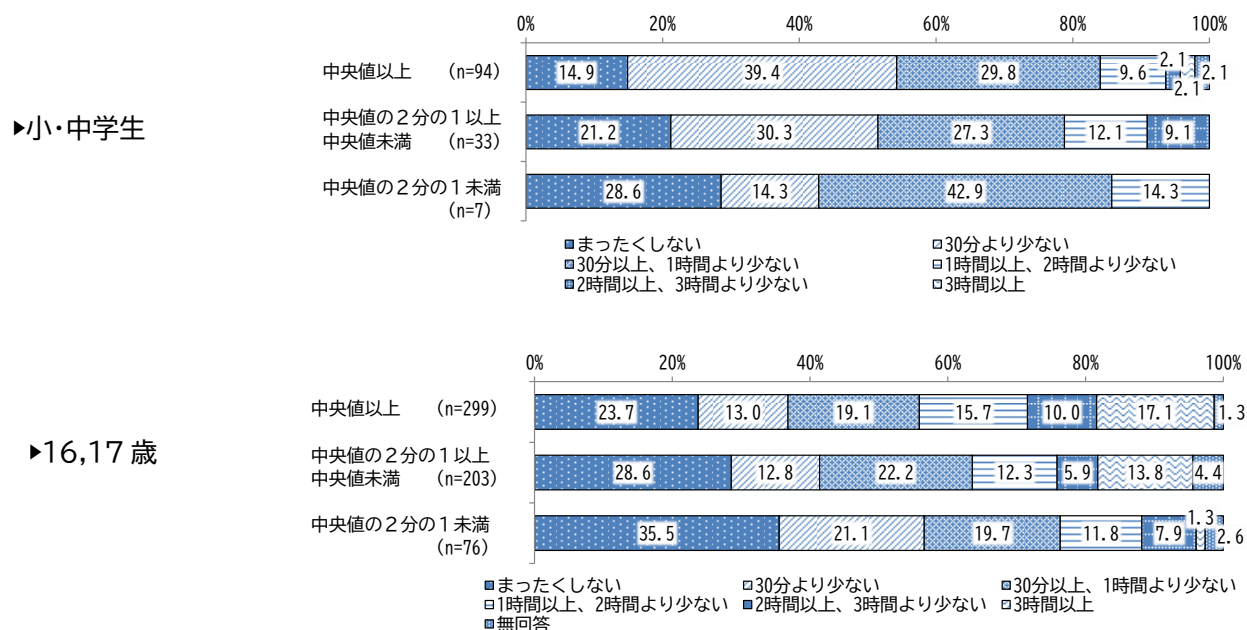
問 3 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

- ふだん学校の授業以外でどのように勉強をしているかについて、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「塾で勉強する」(小・中学生:14.3%、16・17 歳:3.9%)や、「家の人に教えてもらう」(小・中学生:28.6%、16・17 歳:3.9%)の割合が、他の世帯と比べて低くなっている。



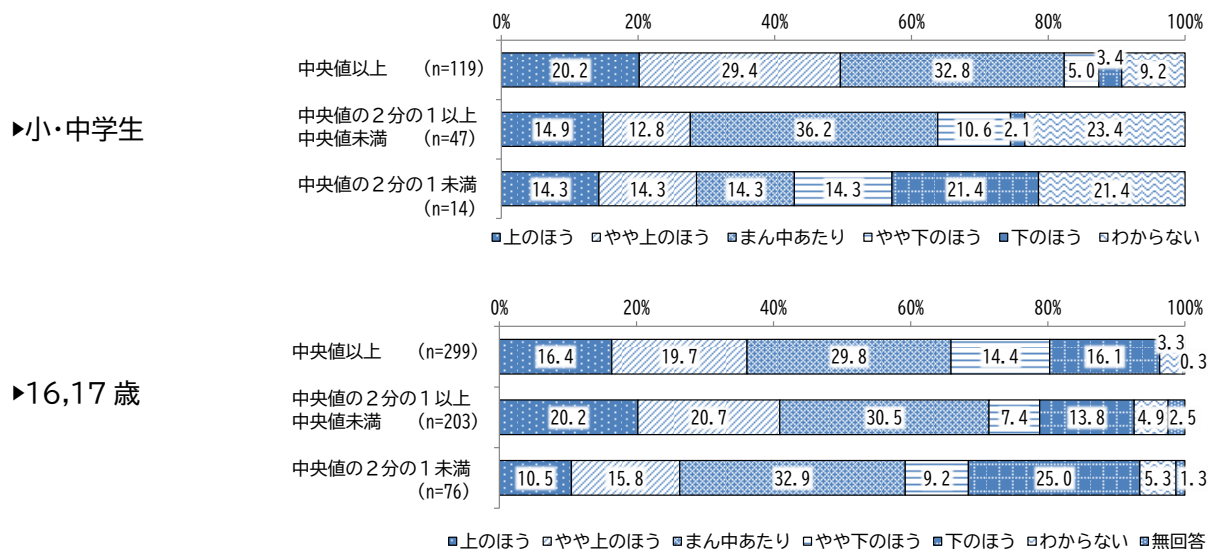
問 4 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1 日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

- 学校の授業以外での 1 日あたりの勉強時間について、等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、学校がない日(土・日曜日・祝日)に「まったくしない」の割合が、小・中学生:28.6%、16・17 歳:35.5%となっており、それぞれそれ以外の世帯と比べて高くなっている。



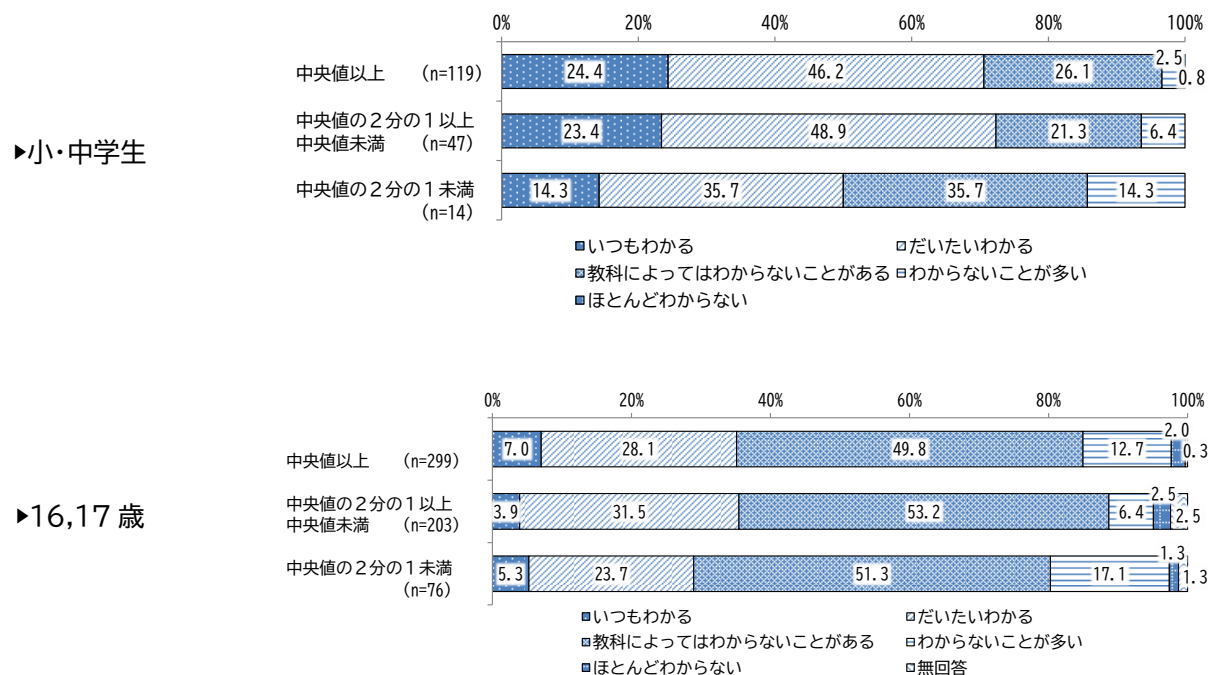
問 5 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。

- クラスの中の成績について等価世帯収入の水準別にみると、「やや下のほう」と「下のほう」を合計した割合は、「中央値以上」の世帯では小・中学生：8.4%、16・17 歳：30.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では小・中学生：12.8%、16・17 歳：21.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では小・中学生：35.7%、16・17 歳：34.2%となっている。



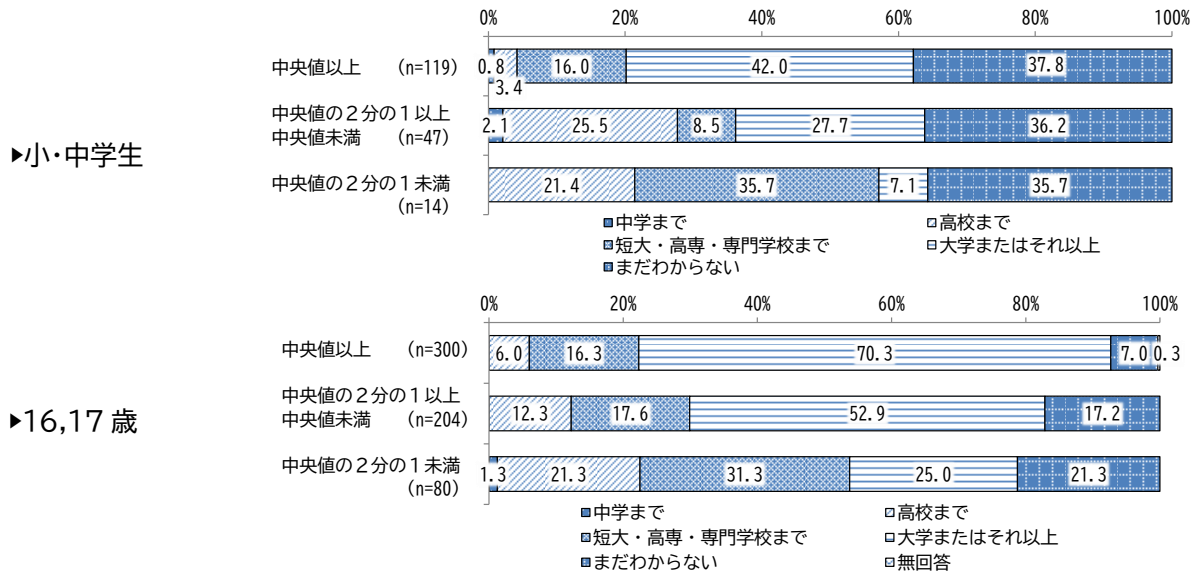
問 6 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

- 学校の授業の理解状況について等価世帯収入の水準別にみると、「ほとんどわからない」と「わからないことが多い」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では小・中学生：3.4%、16・17 歳：14.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では小・中学生：6.4%、16・17 歳：8.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では小・中学生：14.3%、16・17 歳：18.4%となっている。



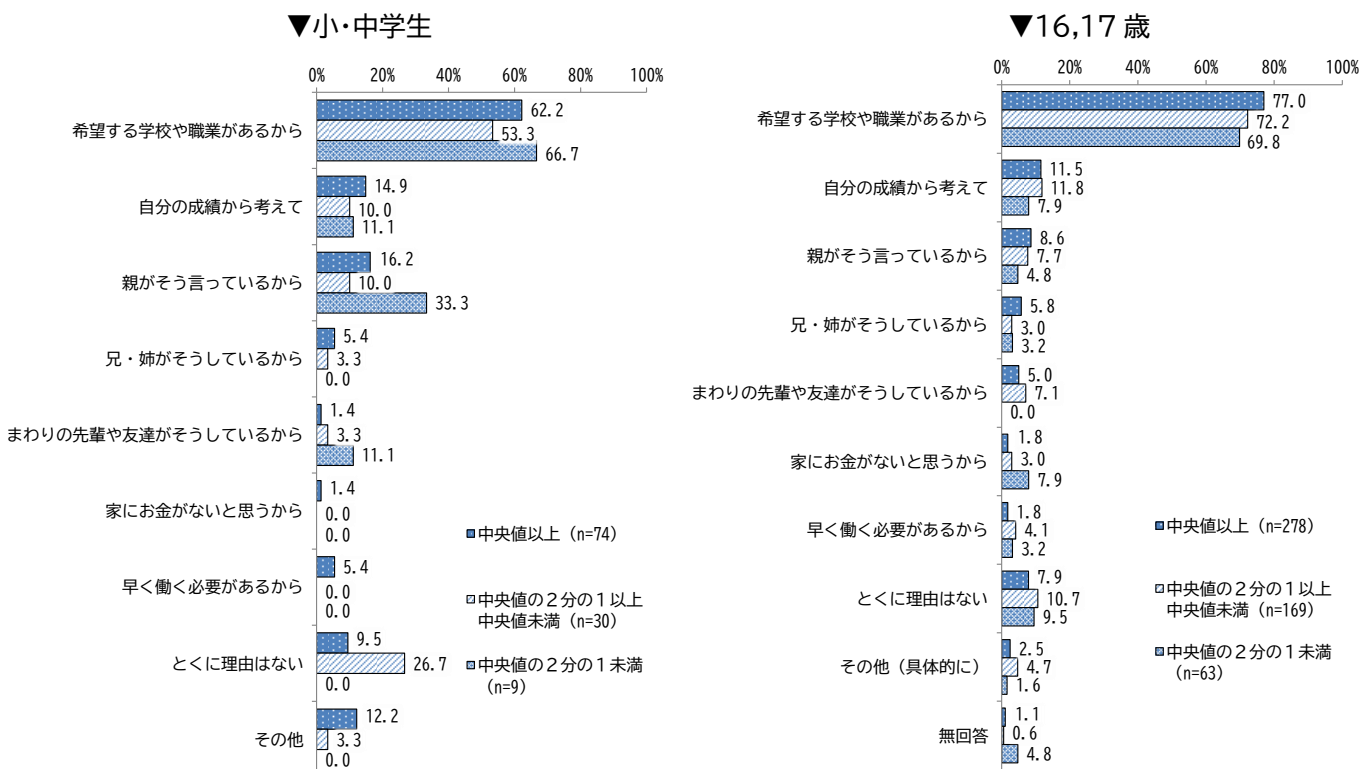
問 7 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。(あてはまるもの 1 つに○)

- 将来どの段階まで進学したいかについて等価世帯収入の水準別にみると、「大学またはそれ以上」の回答割合は、「中央値以上」の世帯では小・中学生:42.0%、16・17 歳:70.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では小・中学生:27.7%、16・17 歳:52.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では小・中学生:7.1%、16・17 歳:25.0%となっている。



問 7-1 その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

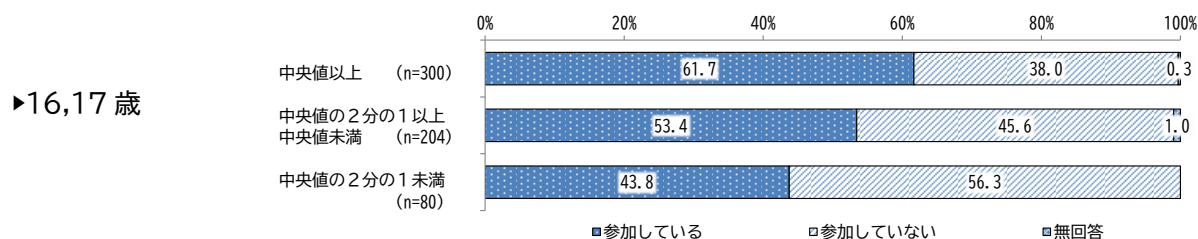
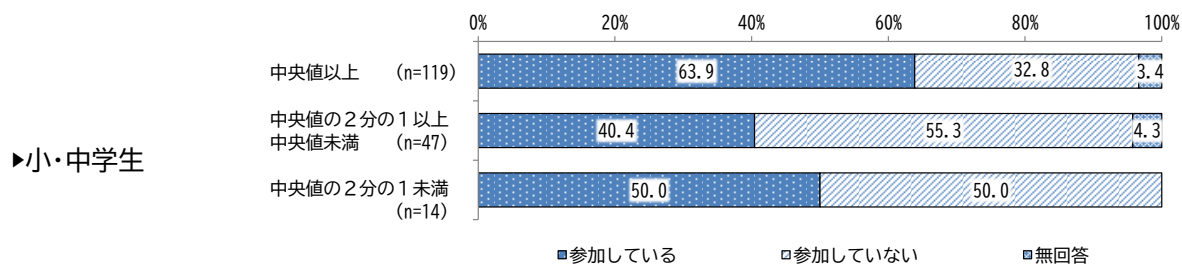
- 進学希望の理由について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では、「希望する学校や職業があるから」が 22.0%で他の世帯と比べて低く、一方で、「家にお金がないと思うから」が 15.6%、「早く働く必要があるから」が 14.7%と比較的高くなっている。



(2)授業以外の活動

問 8 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

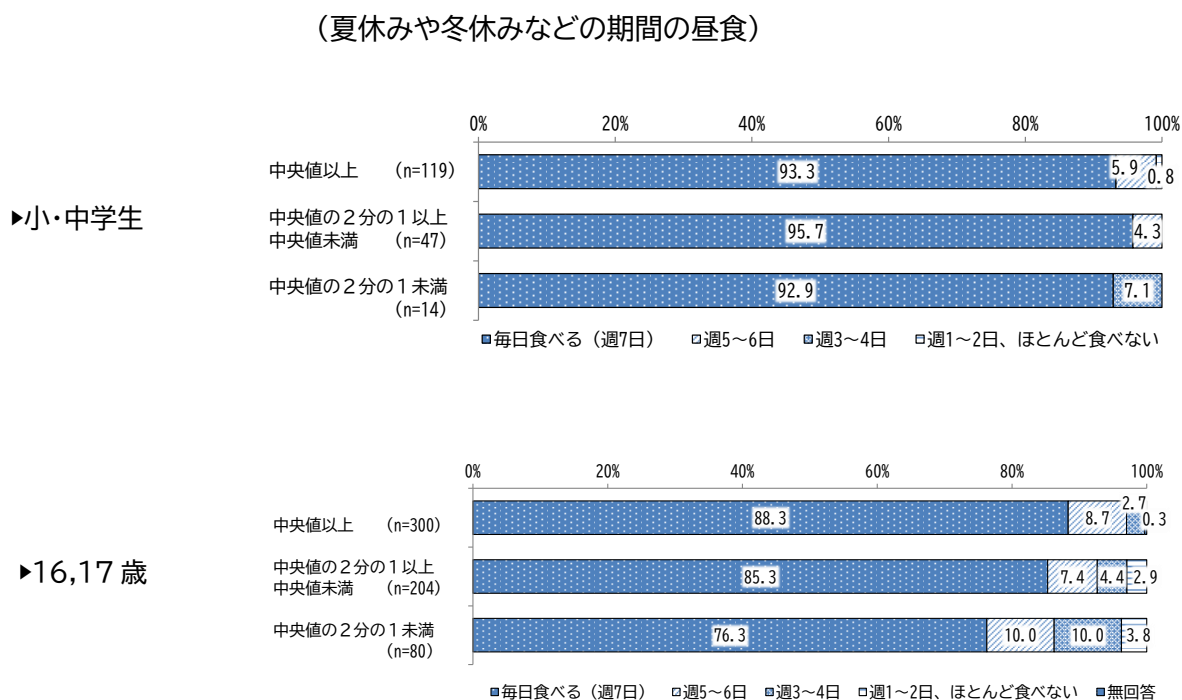
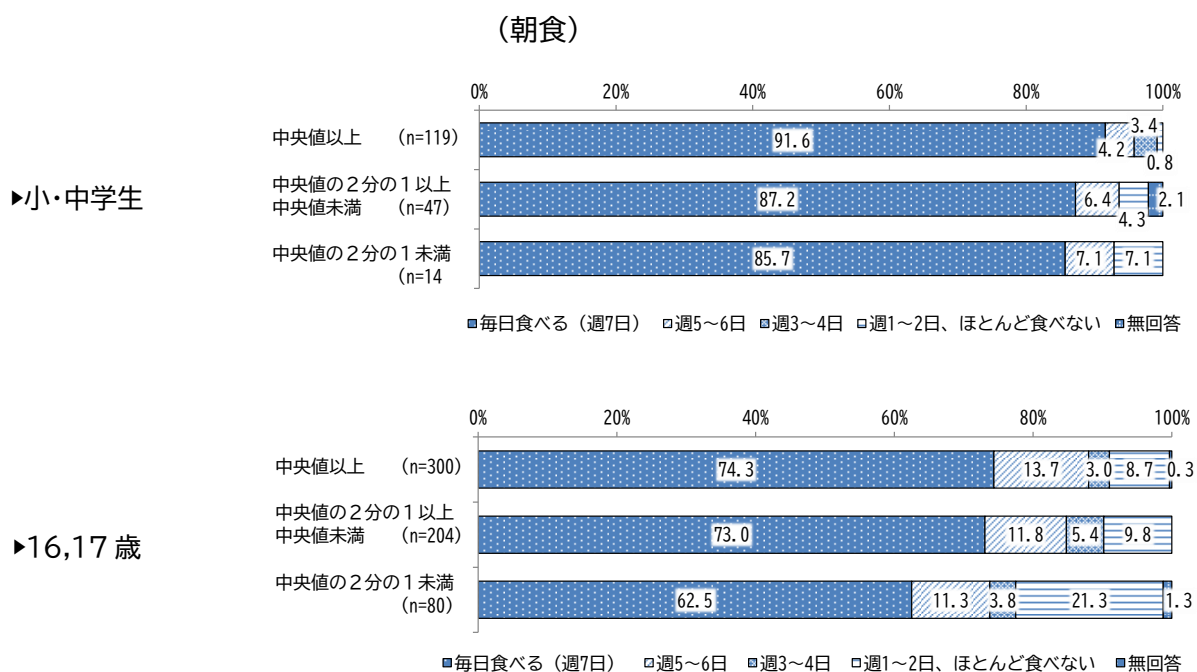
- 地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動への参加状況について等価世帯収入の水準別にみると、「参加していない」の割合は、「中央値以上」の世帯では小・中学生:37.4%、16・17歳:38.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では小・中学生:59.0%、16・17歳:45.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では小・中学生:50.0%、16・17歳:56.3%となっている。



(3) 食事の頻度

問 9 あなたは週にどのくらい食事をしていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

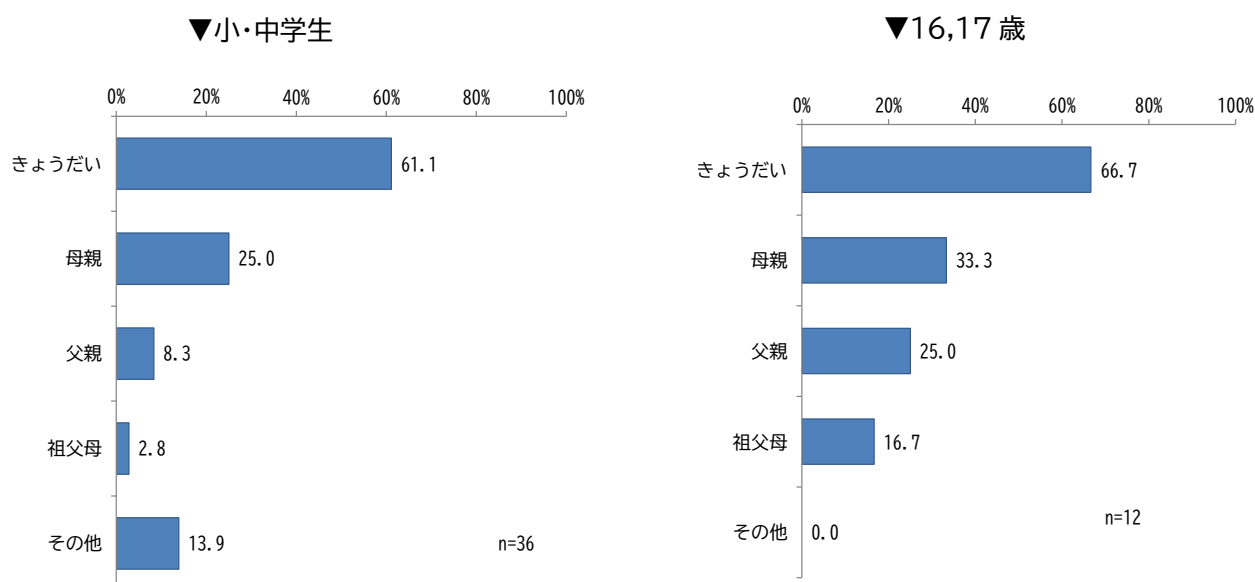
- 食事の頻度について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では、「毎日食べる(週 7 日)」の割合が、「朝食」について小・中学生:85.7%、16・17 歳:62.5%、「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」について小・中学生:92.9%、16・17 歳:76.3%と、他の世帯と比べて低くなっている。



(4) ヤングケアラー

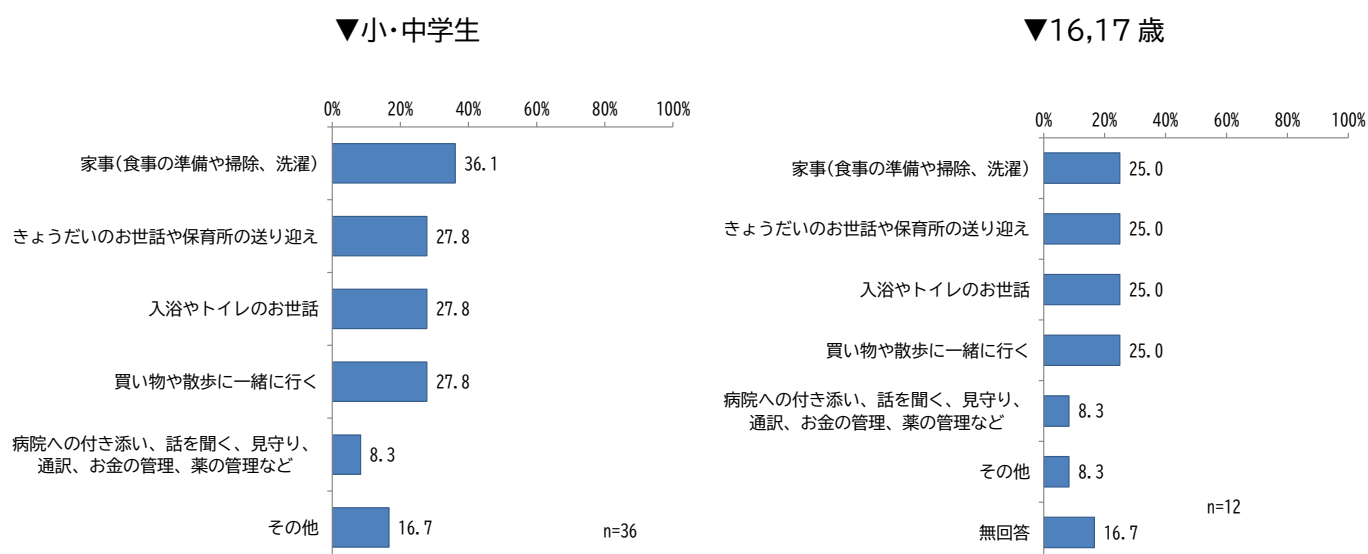
問 11-1 誰のお世話をしていますか。

- お世話の対象についてヤングアラー認知群に限定すると、いずれの年代も「きょうだい」の割合が最も高く、小・中学生 61.1%、16,17 歳 66.7%となっている。



問 11-2 あなたが行っているお世話の内容をお答えください。

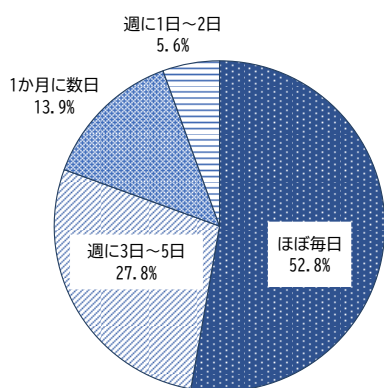
- お世話の内容についてヤングアラー認知群に限定すると、いずれの年代も「家事」の割合が最も高く、小・中学生 36.1%、16,17 歳 25.0%となっている。16,17 歳については、「きょうだいのお世話や保育所の送り迎え」「入浴やトイレのお世話」「買い物や散歩と一緒にいく」の割合も 25.0%となっている。



問 11-3 お世話をすることはどれくらいありますか。

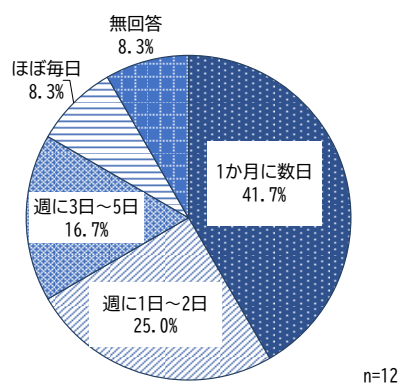
- お世話の頻度についてヤングアラー認知群に限定すると、小中学生では「ほぼ毎日」の割合が 52.8%と最も高く、16,17 歳では「1 か月に数日」の割合が 41.7%と最も高くなっている。

▼小・中学生



n=

▼16,17 歳

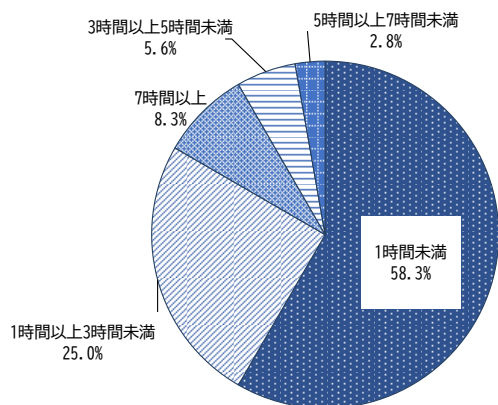


n=12

問 11-4 平日にお世話は何時間程度行っていますか。

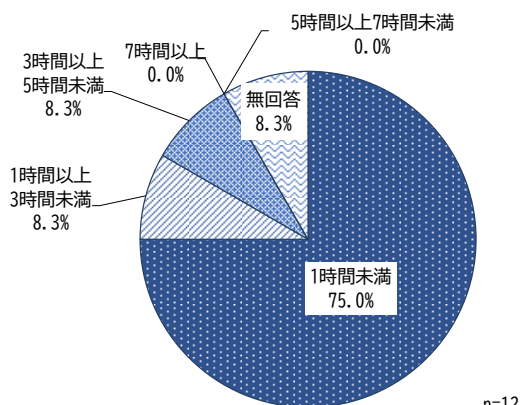
- お世話の時間の長さについてヤングアラー認知群に限定すると、いずれの年代も「1 時間未満」の割合が最も高く、小・中学生 58.3%、16,17 歳 75.0%となっている。

▼小・中学生



n=36

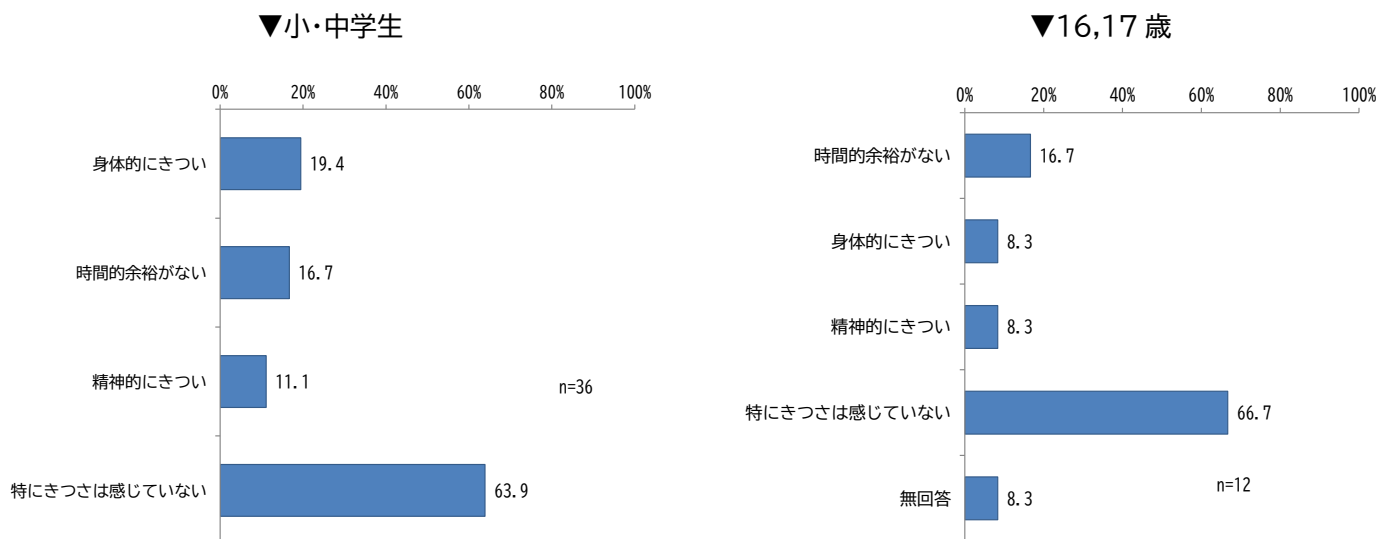
▼16,17 歳



n=12

問 11-5 お世話をすることにつつきを感じていますか。

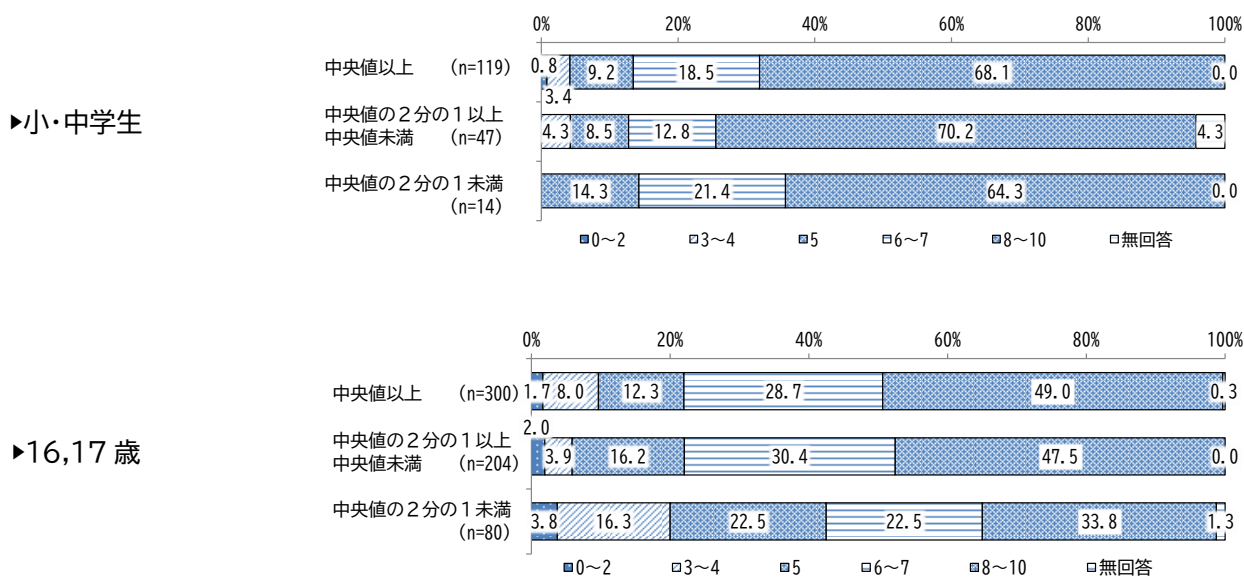
- お世話をすることのつつきについてヤングアラー認知群に限定すると、小中学生では「身体的につつき」の割合が19.4%と最も高く、16,17 歳では「時間的余裕がない」の割合が16.7%と最も高くなっている。



(5) 生活の満足度

問 14 最近の生活に、どのくらい満足していますか。(10 点満点)

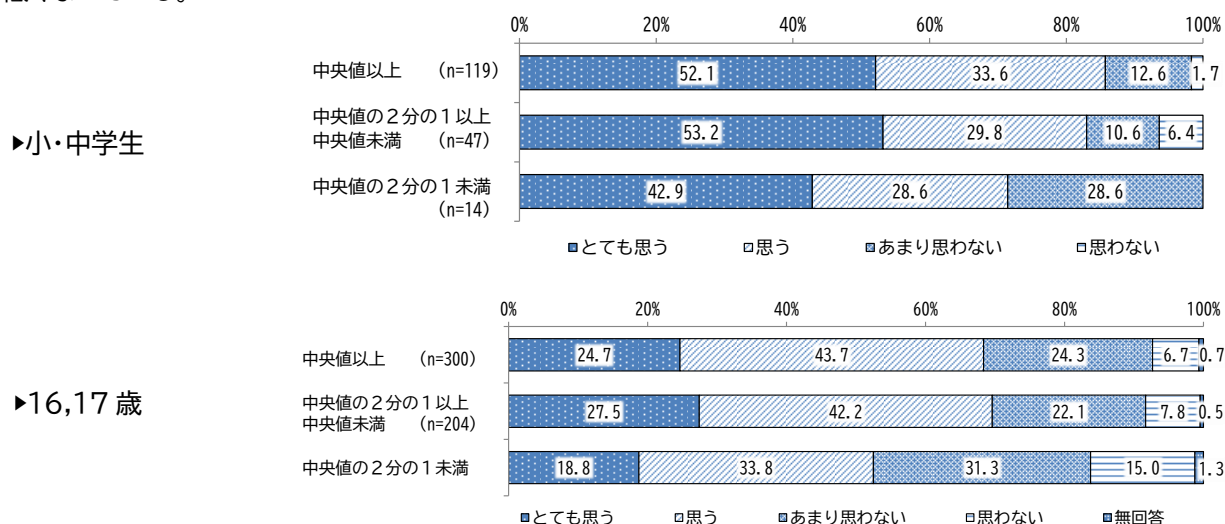
- 最近の生活の満足度について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では、満足度が低い方の回答(0～5 点)割合が、小・中学生:35.7%、16・17 歳:42.5%と、他の世帯と比べて高くなっている。



(6) 自分自身の気持ち

問 13	あなたの思いや気持ち(自分自身の将来が楽しみだ)について、最も近いものはどれですか。 (あてはまるもの1つに○)
------	---

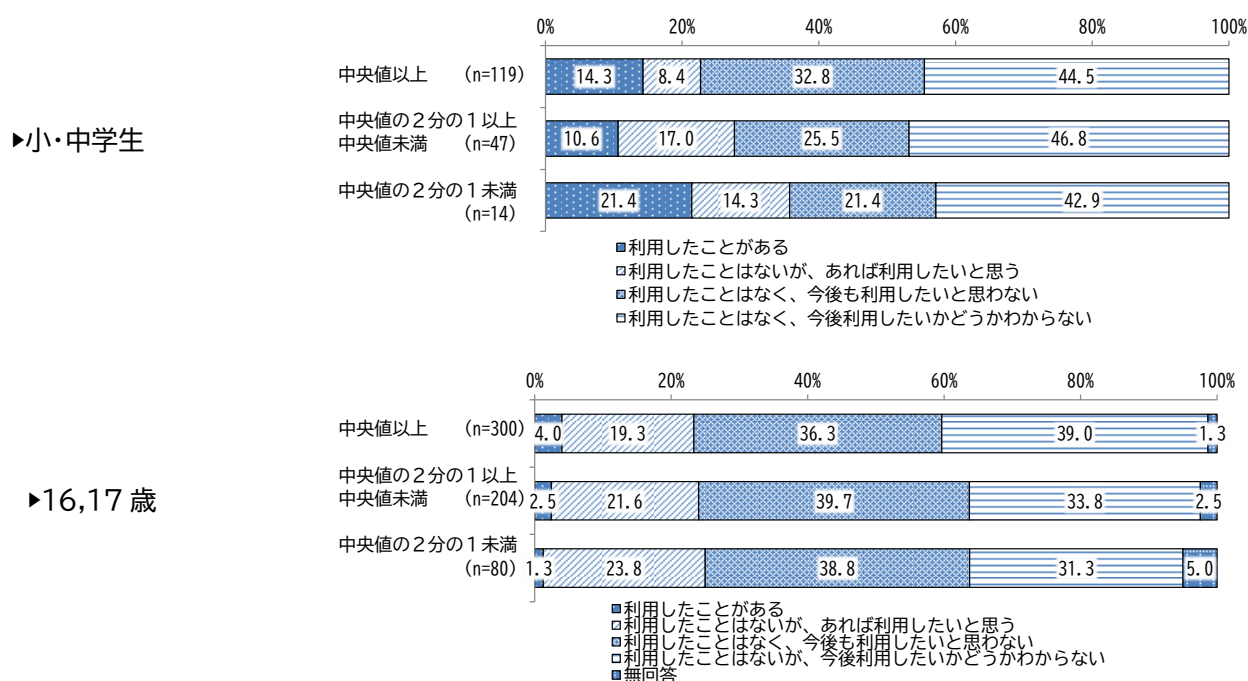
- 自分自身の将来に対する気持ちについて等価世帯収入の水準別にみると、「とても思う」と「思う」を合わせた割合は、「中央値の2分の1未満」の世帯では小・中学生：71.4%、16・17 歳：52.5%と他の世帯よりも低くなっている。



(7) 居場所の利用

問 16	あなたは、(自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子供食堂など)を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。
------	---

- 居場所の利用について等価世帯収入の水準別にみると、小・中学生の「中央値の2分の1未満」世帯では、「利用したことがある」の割合が21.4%、16,17 歳の「中央値の2分の1未満」世帯では、「利用したことはないが、あれば利用したいと思う」の割合が23.8%と、他の世帯と比べて高くなっている。

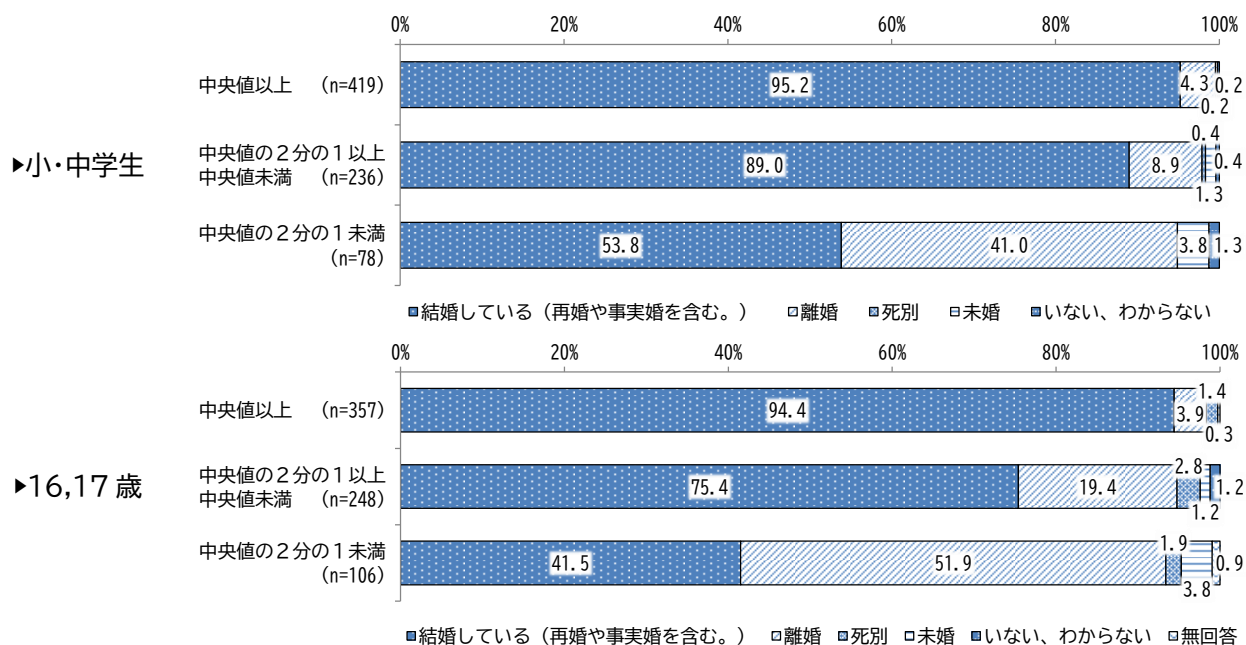


3. 子どもの生活実態調査【小・中学生保護者、16,17 歳保護者】

(1) 保護者の状況

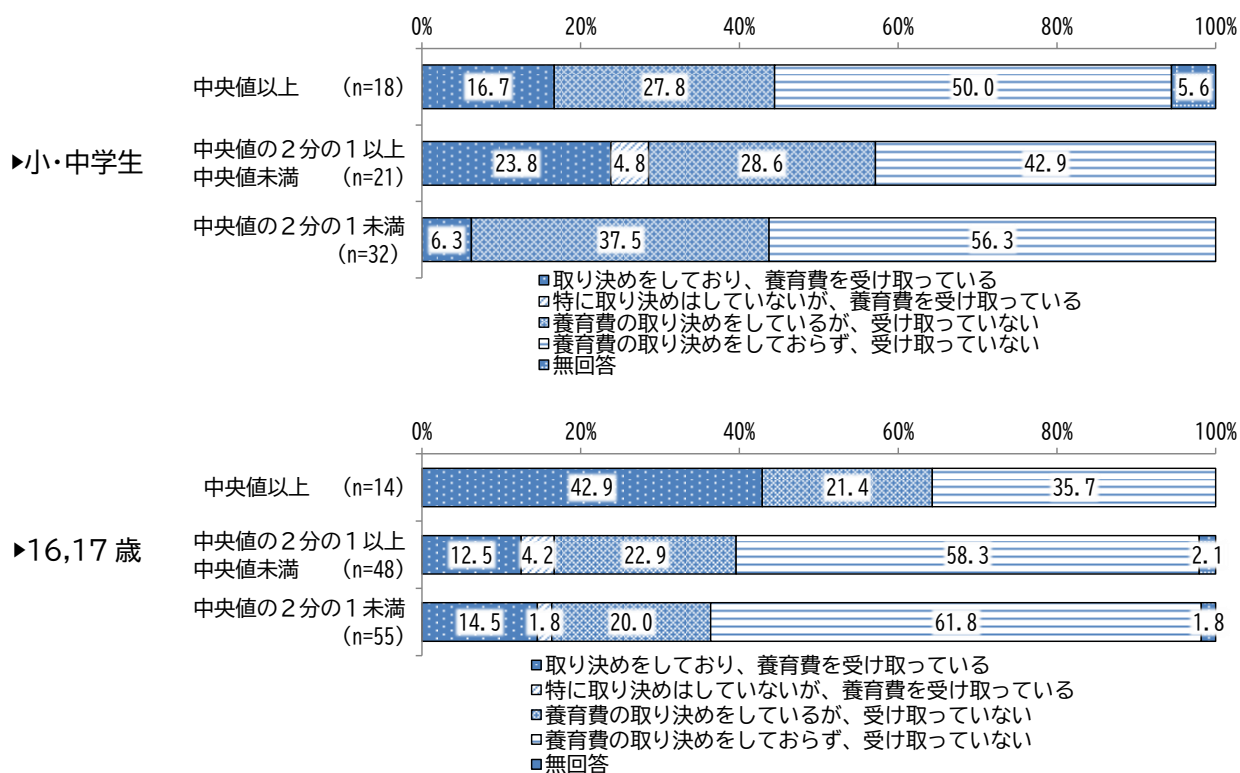
問 6 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。

- 婚姻状況について等価世帯収入の水準別にみると、「結婚している」の割合は、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では、小・中学生:53.8%、16・17 歳:41.5%と、他の世帯と比べて低くなっている。



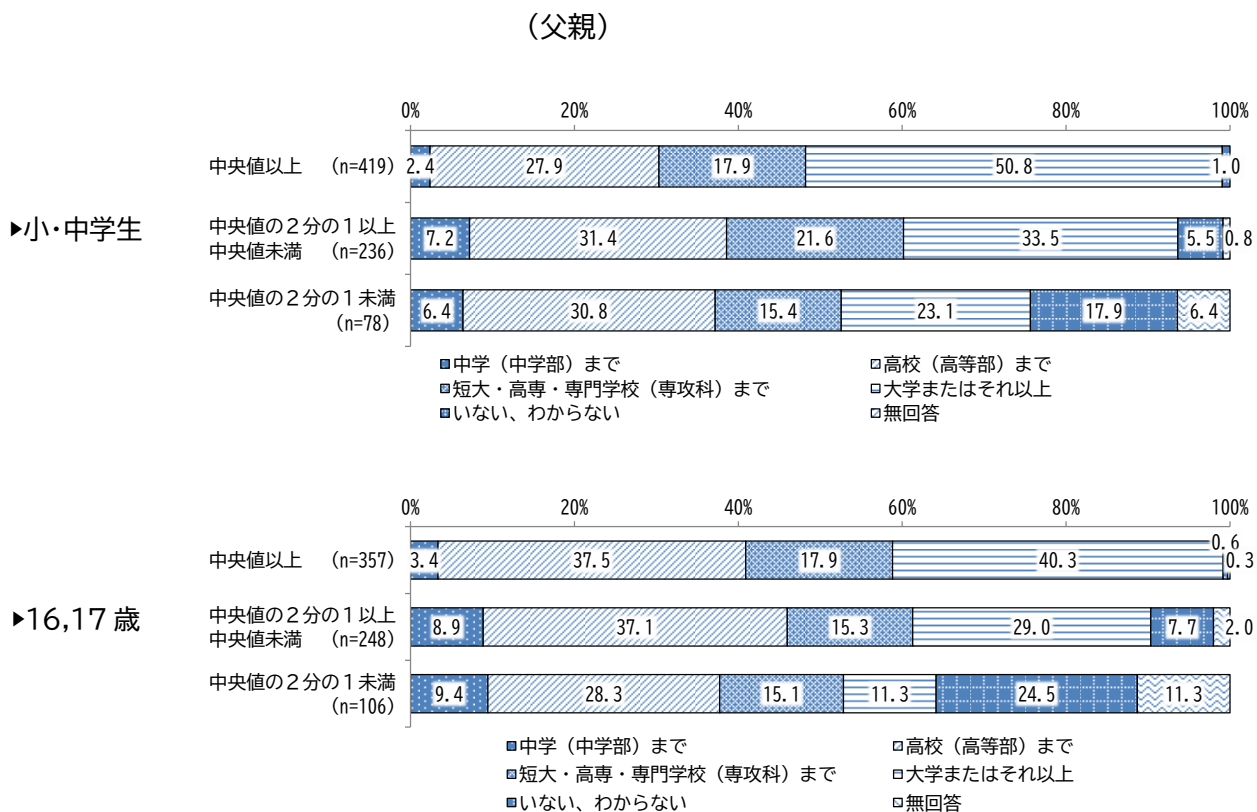
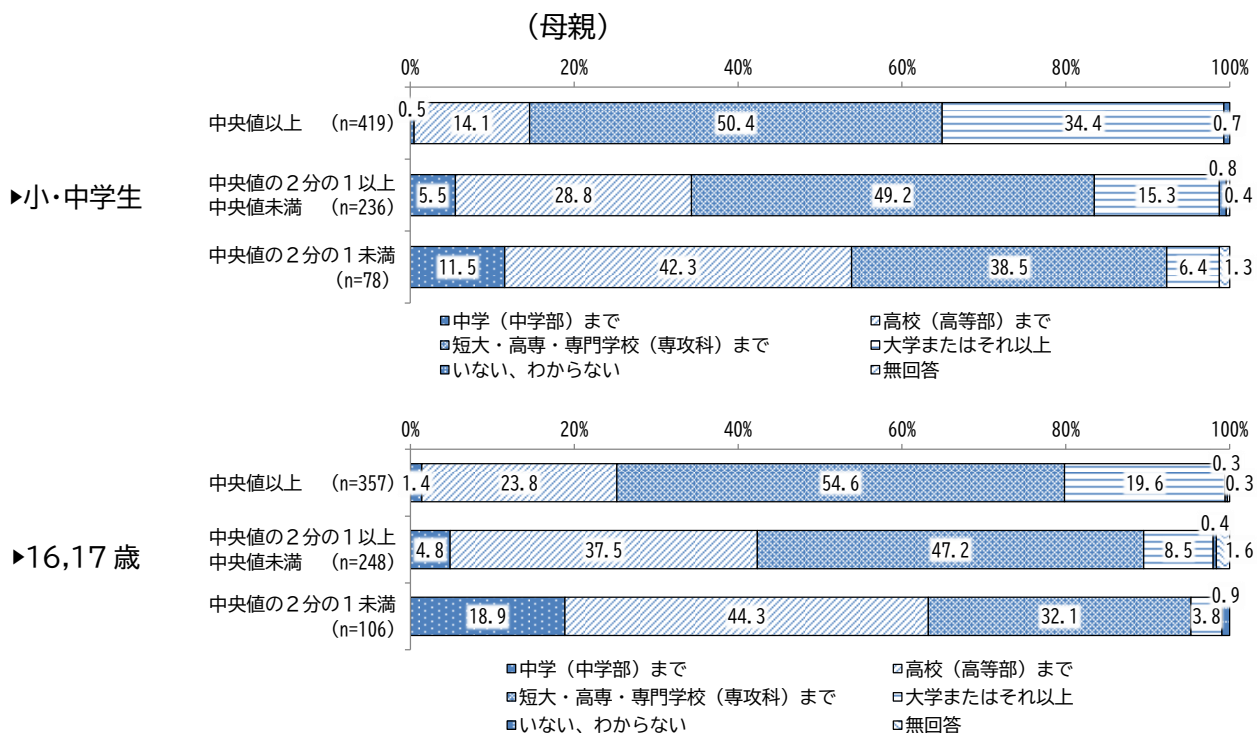
問 6-1 離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を受け取っていますか。

- 養育費について等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では受け取っていないと回答した割合が、小・中学生:93.8%、16・17 歳:81.8%と、他の世帯と比べて低くなっている。



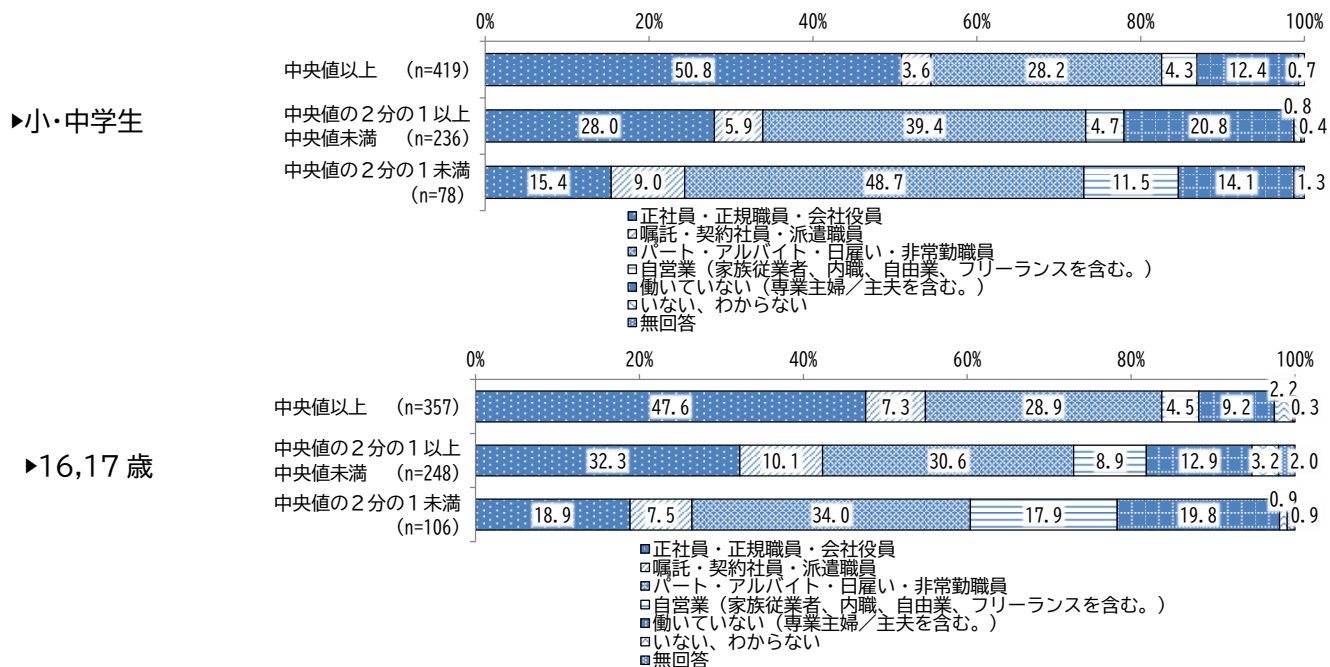
問 8 お子さんの親の最終学歴(卒業した学校)を教えてください。

- 母親・父親の学歴について等価世帯収入の水準別にみると、「小・中学生」「16,17 歳」とともに、学歴が高いほど等価世帯収入の「中央値以上」に該当する割合が高くなり、「中央値の 2 分の 1 未満」に該当する割合が低くなっている。



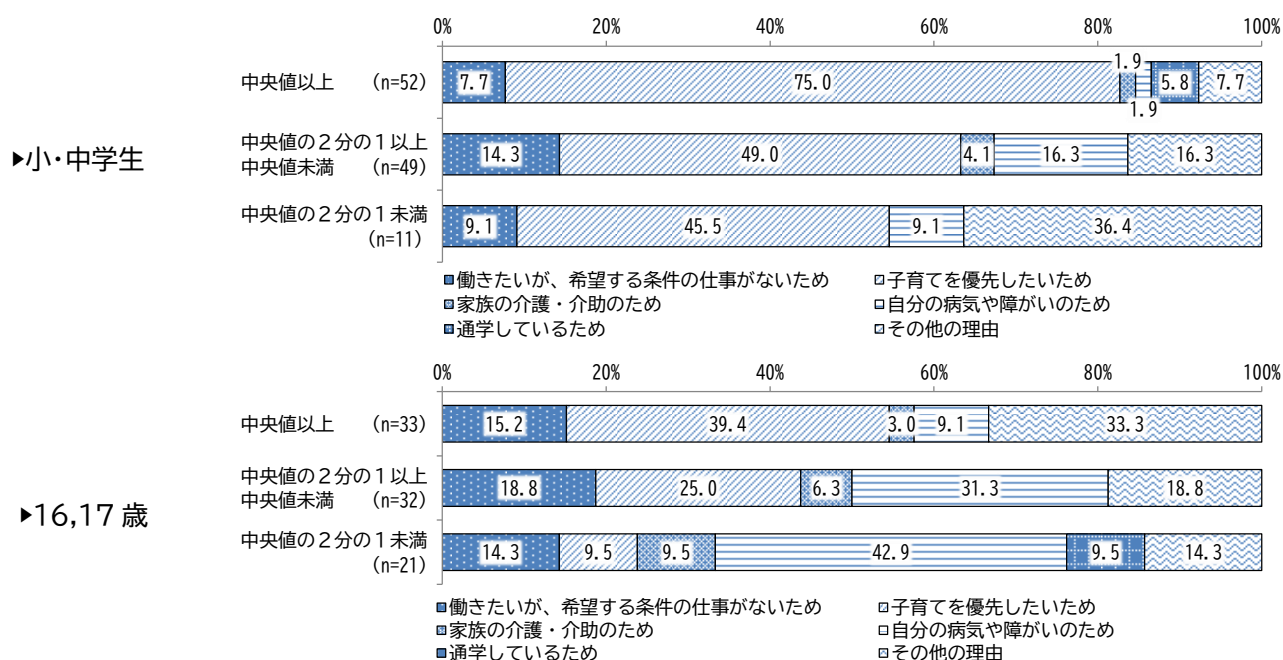
問 9 お子さんの母親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

- 母親の就労状況について等価世帯収入の水準別にみると、世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 小・中学生 48.7%、16,17 歳 34.0%となっている。一方で「正社員・正規職員・会社役員」は、小・中学生 15.4%、16,17 歳 18.9%と他の世帯と比べて低くなっている。



問 9-1 （母親が）働いていない最も主な理由を教えてください。

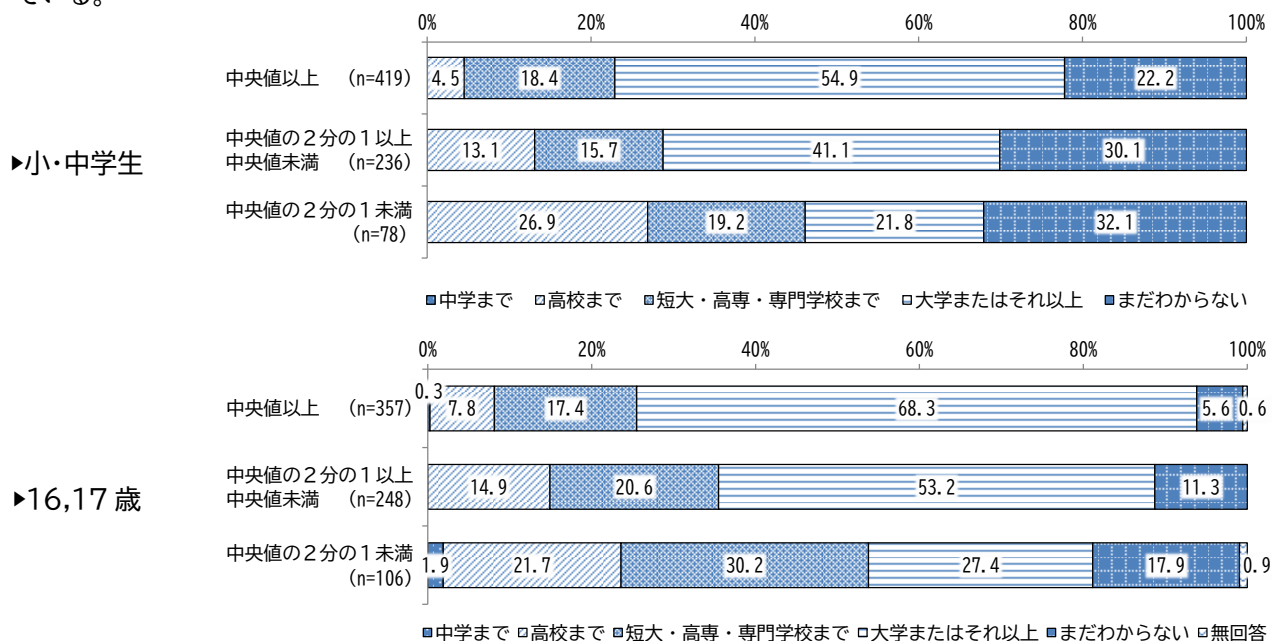
- 母親が働いていない理由について等価世帯収入の水準別にみると、世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では、「自分の病気や障がいのため」が 小・中学生 45.5%、16,17 歳 9.5%と他の世帯と比べて高くなっている。



(2) 子どもの進学

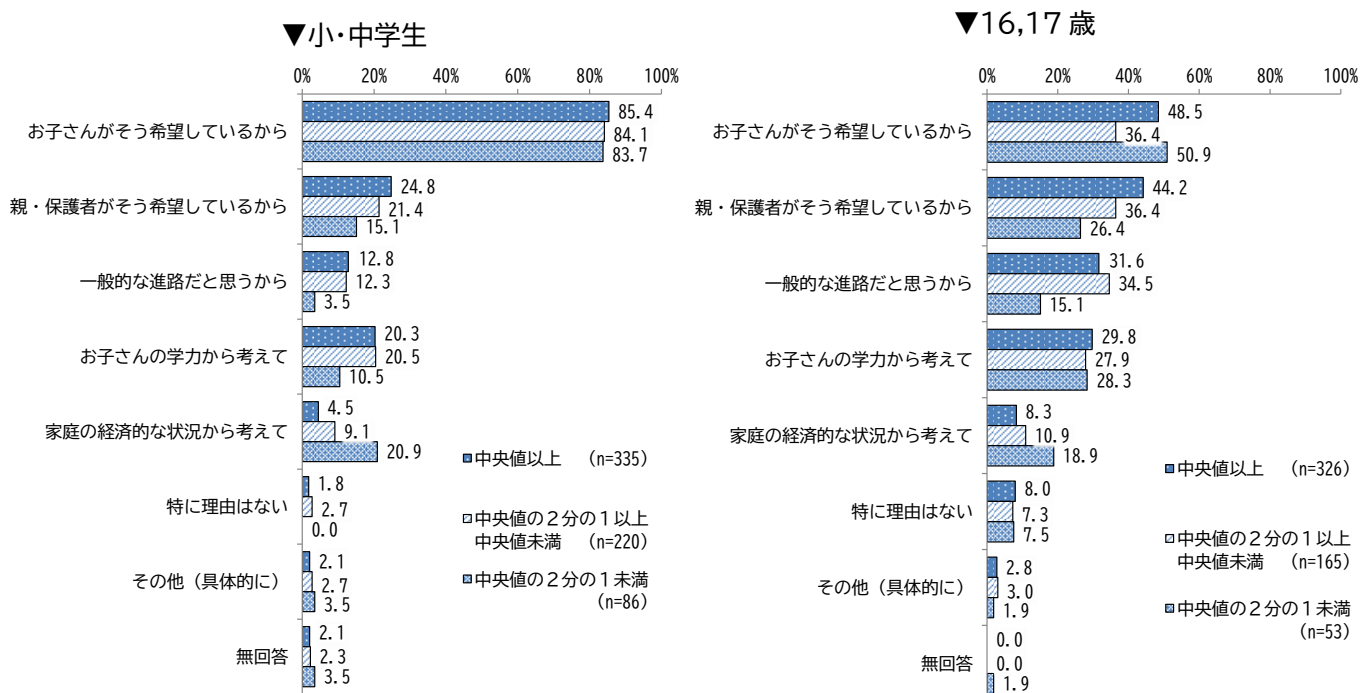
問 14 お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。

- 子どもの進学先について等価世帯収入の水準別にみると、世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では、「大学またはそれ以上」が 小・中学生 21.8%、16,17 歳 27.4%と他の世帯と比べて低くなっている。



問 14-1 その理由は何ですか。

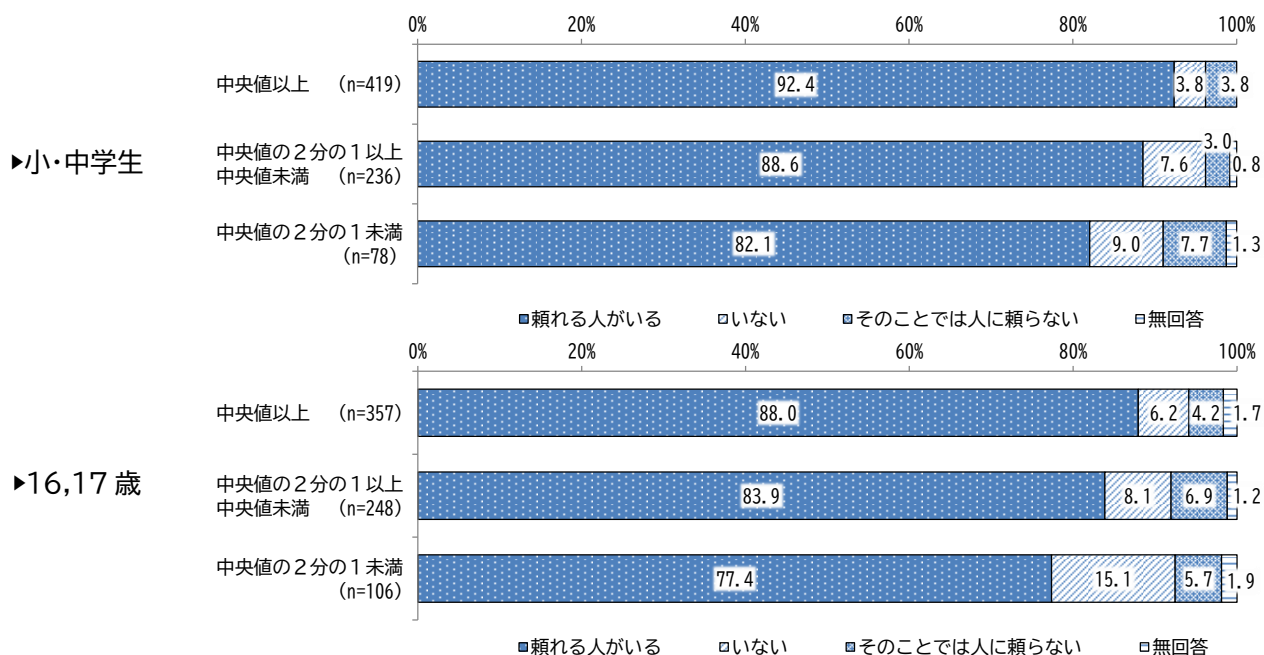
- その理由について等価世帯収入の水準別にみると、世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯では、「仮定の経済的な状況から考えて」が 小・中学生 20.9%、16,17 歳 18.9%と他の世帯と比べて低くなっている。



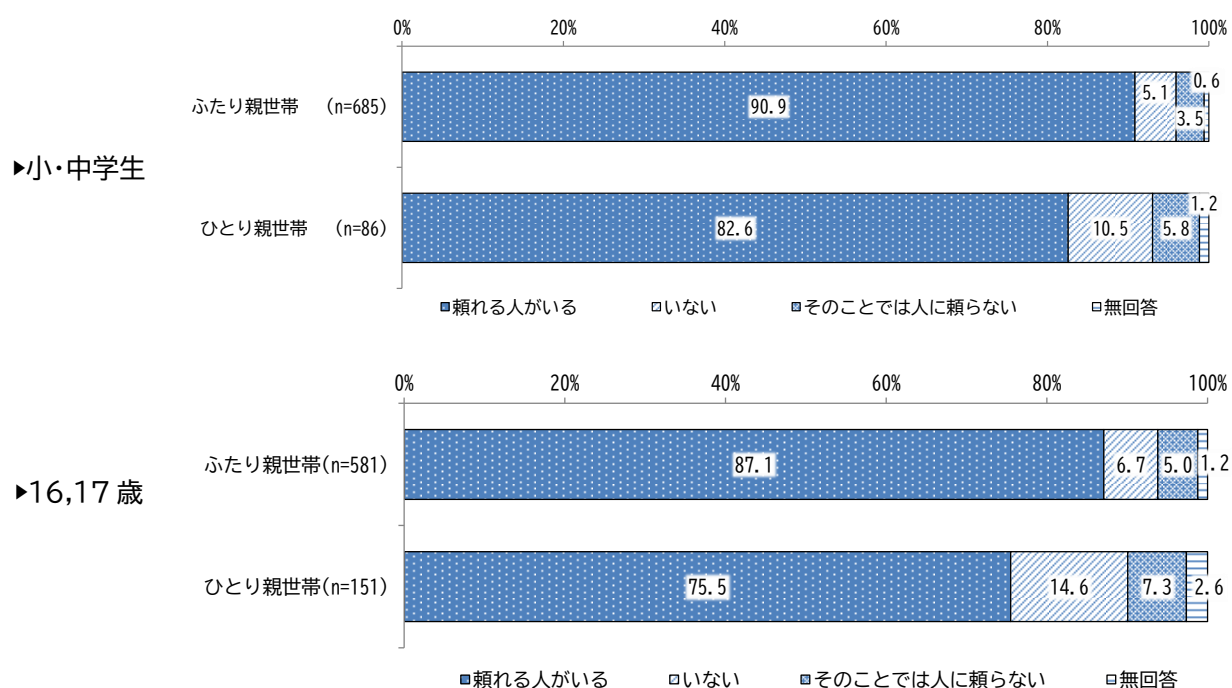
(3) 相談先

問 15b あなたは重要な事柄の相談で頼れる人はいますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- 重要な事柄の相談について等価世帯収入の水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では小・中学生 3.8%、16,17 歳 6.2%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では小・中学生 7.6%、16,17 歳 8.1%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では小・中学生 9.0%、16,17 歳 15.1%となっている。

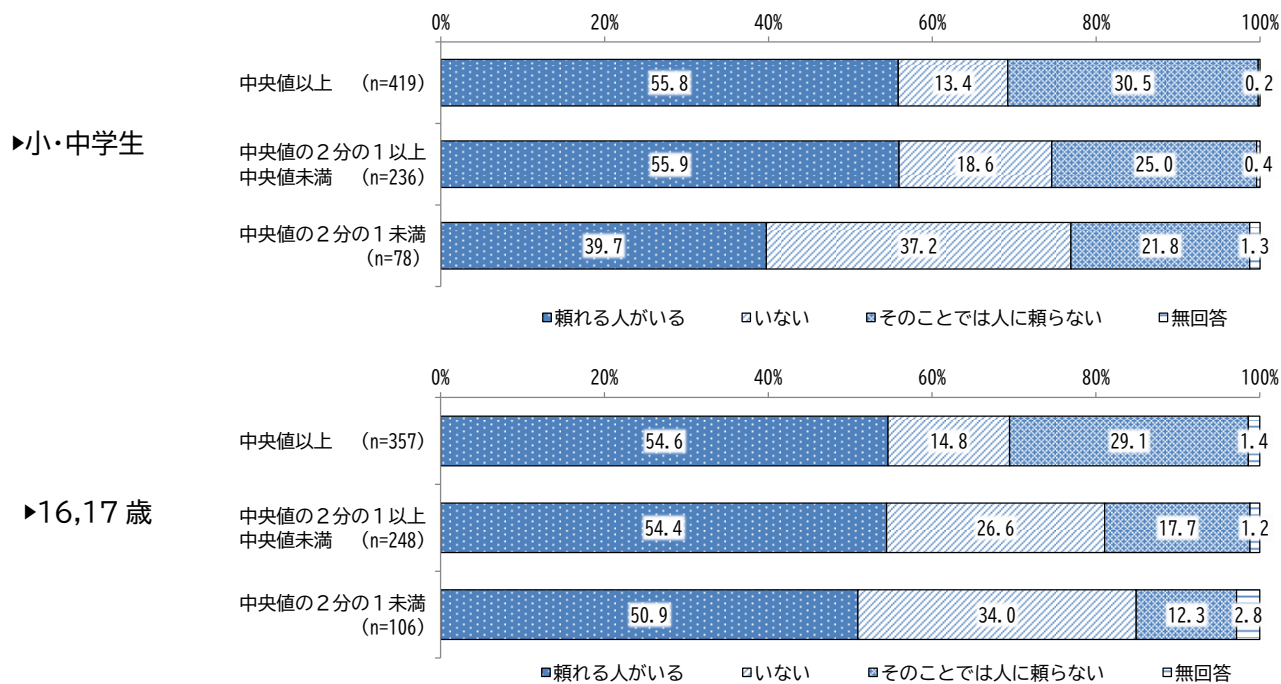


- 重要な事柄の相談について世帯の状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では小・中学生 5.1%、16,17 歳 6.7%、「ひとり親世帯」では小・中学生 10.5%、16,17 歳 14.6%となっている。

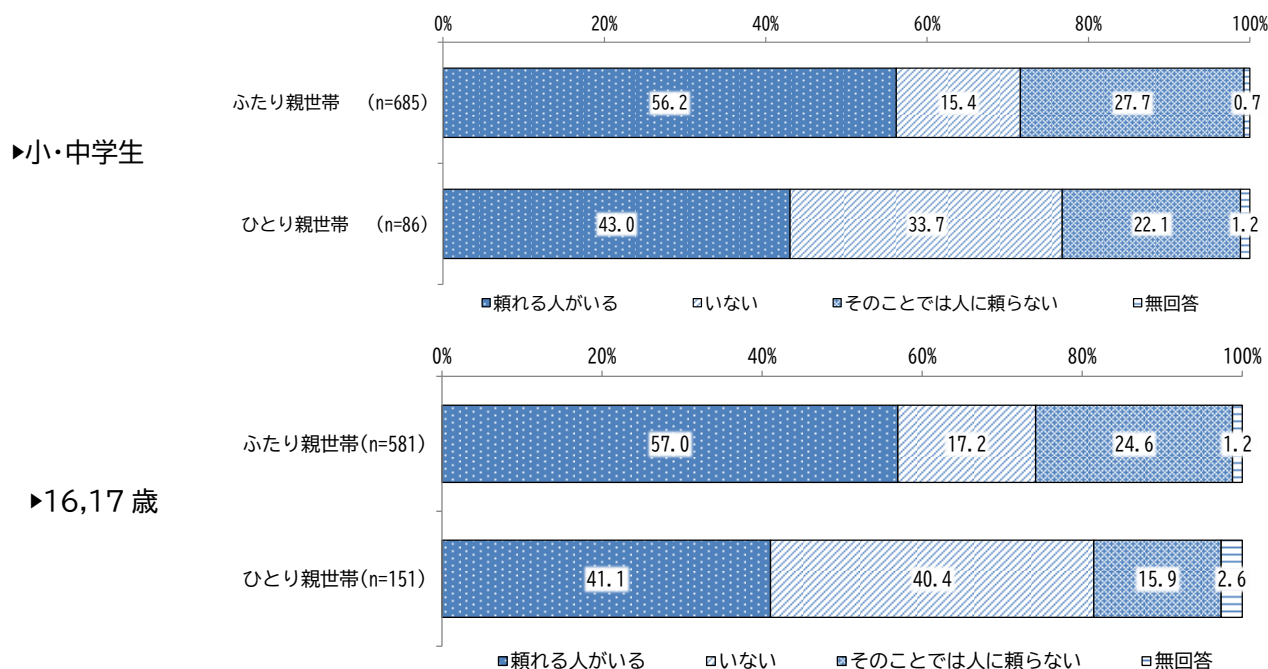


問 15c あなたはいざという時のお金の援助を頼れる人はいますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- いざという時のお金の援助について等価世帯収入の水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では小・中学生 13.4%、16,17 歳 14.8%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では小・中学生 18.6%、16,17 歳 26.6%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では小・中学生 37.2%、16,17 歳 34.0%となっている。



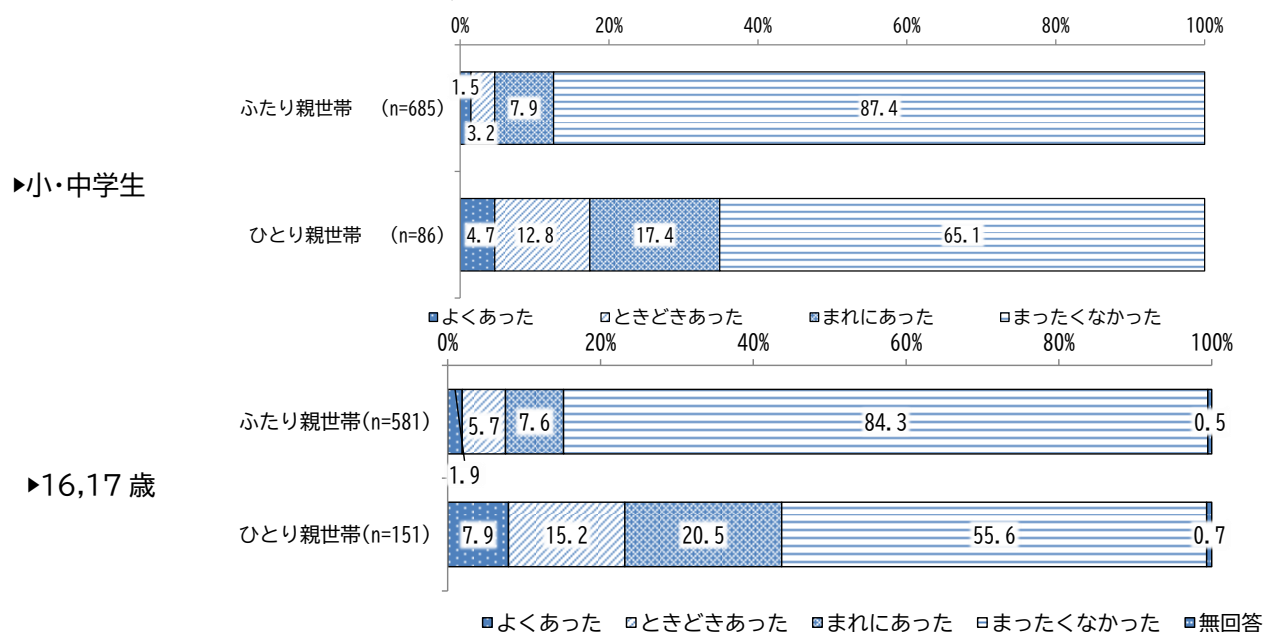
- いざという時のお金の援助について世帯の状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では小・中学生 15.4%、16,17 歳 17.2%、「ひとり親世帯」では小・中学生 33.7%、16,17 歳 40.4%となっている。



(4) 経済的に困難な状況

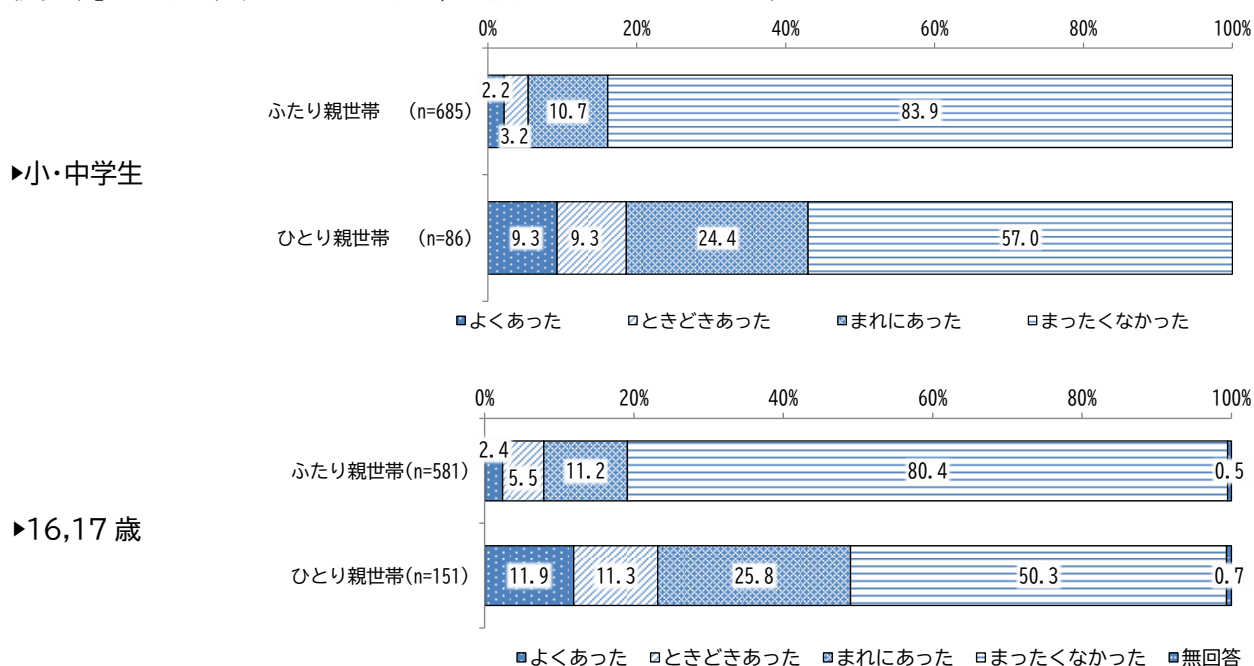
問 18 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。

- 家族が必要とする食料が買えなかった経験について世帯の状況別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では小・中学生 12.6%、16,17 歳 15.1%、「ひとり親世帯」では小・中学生 34.9%、16,17 歳 43.7%となっている。



問 19 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

- 家族が必要とする衣服が買えなかった経験について世帯の状況別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では小・中学生 16.1%、16,17 歳 19.1%、「ひとり親世帯」では小・中学生 43.0%、16,17 歳 49.0%となっている。

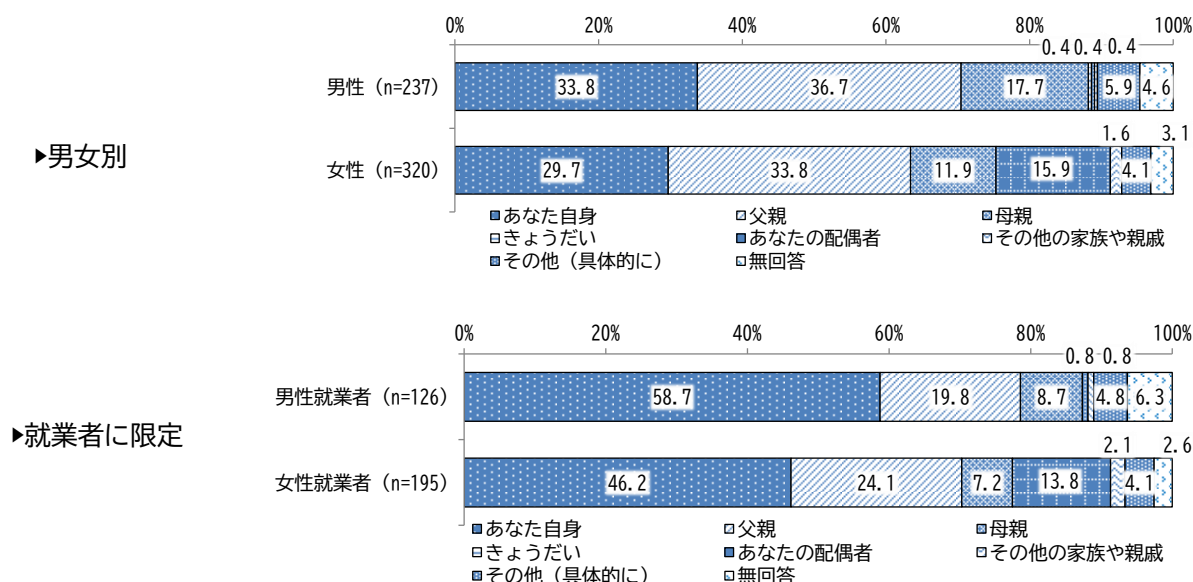


4. こども・若者意識調査【18～39 歳】

(1) 経済的自立

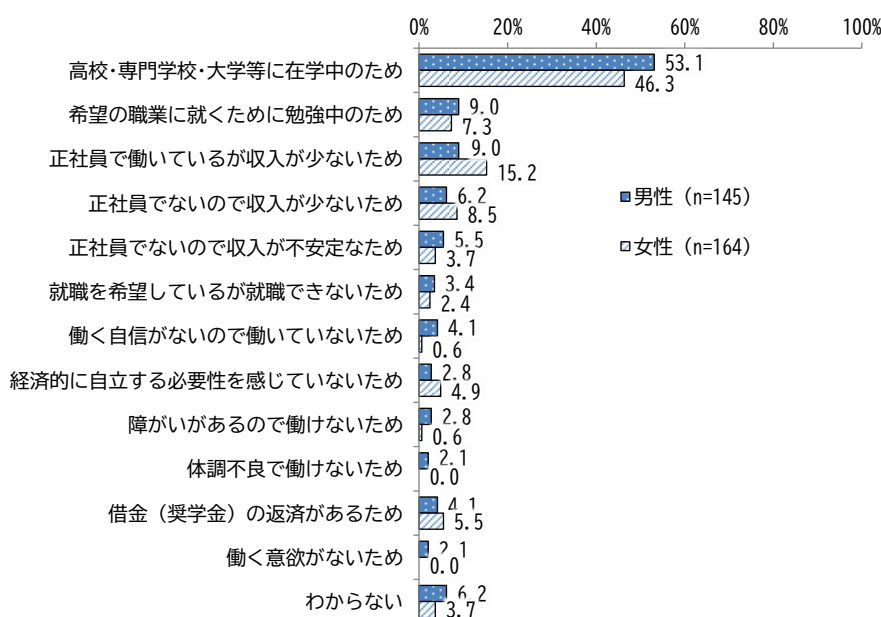
問 4 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。(あてはまるもの1つに○)

- 回答者の家の生計を立てている人について、「あなた自身」の割合は男性 33.8%、女性 29.7%となっている。対象者を就業者(問 7 で「現在就業している」を選択し、問 8 で「学生・生徒」の除く)に限定すると、「あなた自身」の割合は男性 58.7%、女性 46.2%となっている。女性は「あなたの配偶者」の割合が男性と比較すると高く、「あなた自身」とあわせると 60.0%となる。



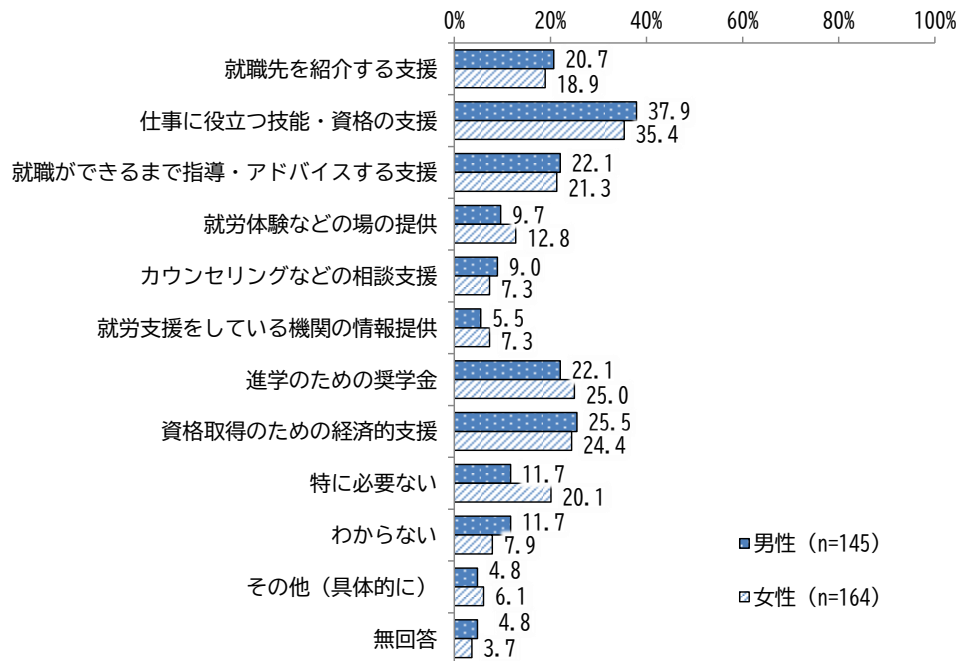
問 4-1 自分の生活に必要なお金を、あなた自身(またはあなた自身の配偶者)ではなく、別の方から得ている状態にある理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 生計を立てている人が「あなた自身」または「あなた自身の配偶者」以外の理由について男女別にみると、「正社員で働いているが収入が少ないため」の割合が男性 9.0%、女性 15.2%となっていることから、男女間の賃金の開きが一定程度影響しているものとみられる。

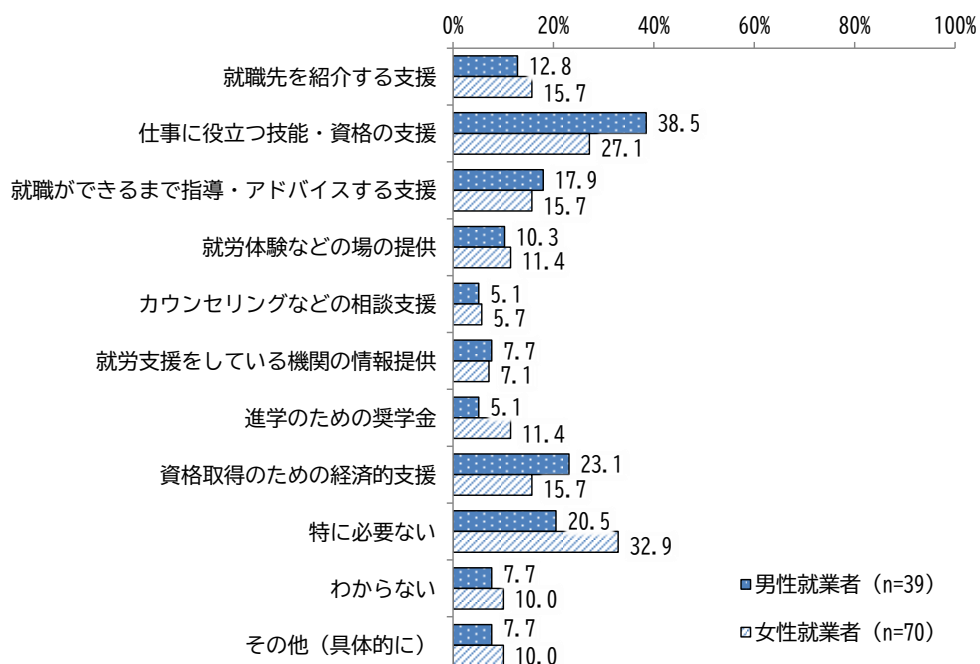


問4-2 経済的に自立するためにあなたが必要なものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 問4-1と同じ対象者にとって経済的に自立に必要なものを男女別にみると、「仕事に役立つ技能・資格の支援」の割合が男性37.9%、女性35.4%と最も高い。同様に「資格取得のための経済的支援」についても男性37.9%、女性35.4%と割合が高い。



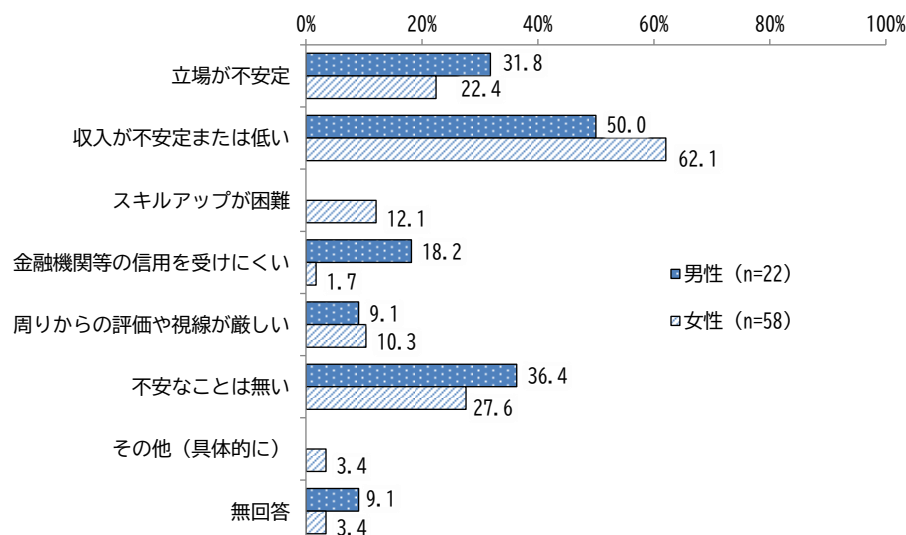
- 就業者(問7で「現在就業している」を選択し、問8で「学生・生徒」の除く)に限定すると、「仕事に役立つ技能・資格の支援」(男性38.5%、女性27.1%)や「資格取得のための経済的支援」(男性23.1%、女性15.7%)と高いものの、男女で差がみられるようになった。「特に必要ない」とする回答が女性は32.9%と高くなっている。



(2) 雇用形態

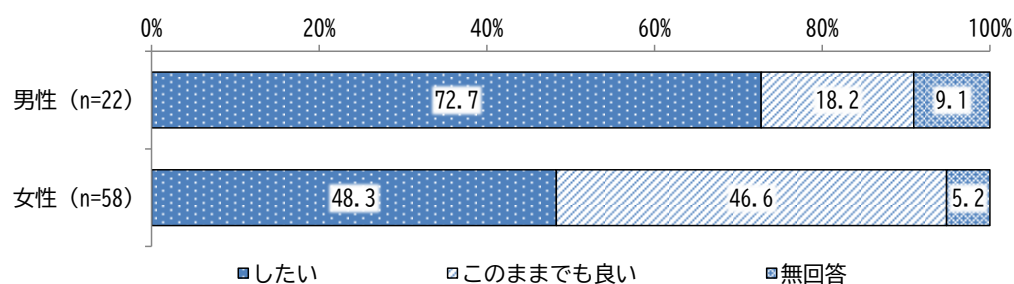
問 8-1 雇用形態について不安なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 「パート・アルバイト(学生アルバイトは除く)」「派遣社員」「契約社員・嘱託」の人が抱えている雇用形態への不安を男女別にみると、男女ともに「収入が不安定または低い」が最も高いが、男性 50.0%、女性 62.1%と女性の割合が高い。一方で「立場が不安定」(男性 31.8%、女性 22.4%)、「金融機関等の信用を受けにくい」(男性 18.2%、女性 1.7%)については男性の割合が高くなっている。



問 8-2 正社員として就職したいですか。(あてはまるもの 1 つに○)

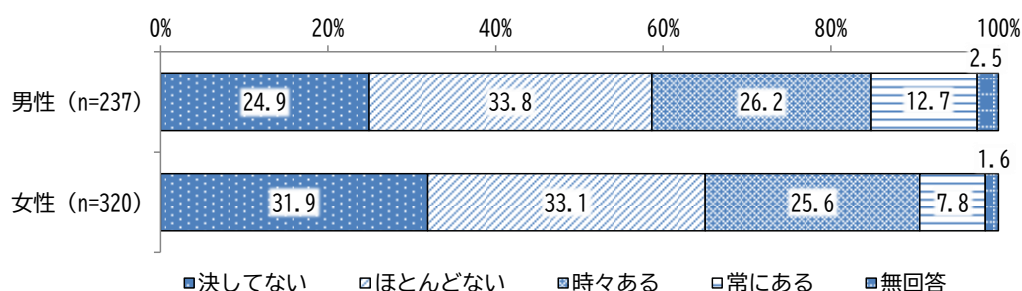
- 正社員としての就職希望を男女別にみると、「したい」の割合が男性 72.7%、女性 48.3%であるのに対して、「このままでも良い」の割合は男性 18.2%、女性 46.6%となっている。



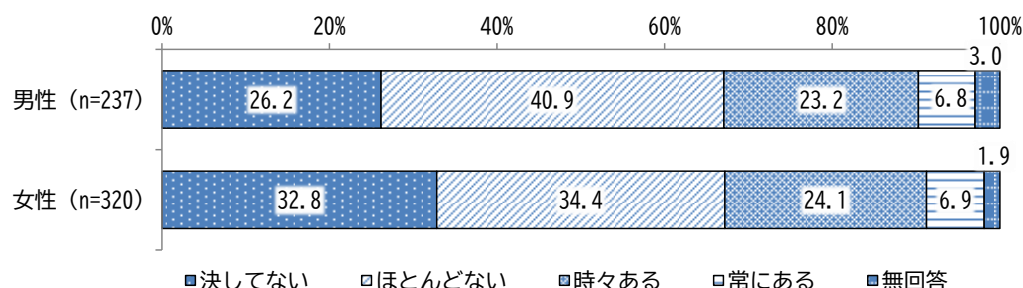
(3) 孤独感

問 10 孤独感について、あなたはどれくらいの頻度で感じていますか。(あてはまるもの 1 つに○)

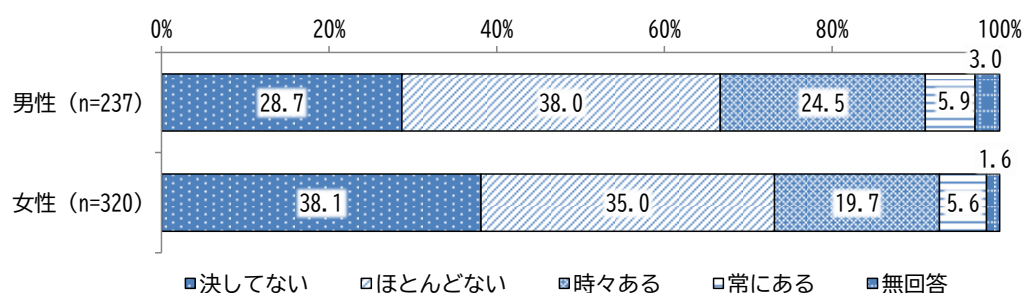
- 「自分には人とのつきあいがないと感じることがある」かどうか男女別にみると、男性の方が女性よりも頻度が高く「ほとんどない」(男性 33.8%、女性 33.1%)、「時々ある」(男性 26.2%、女性 25.6%)、「常にある」(男性 12.7%、女性 7.8%)に対して、「決してない」(男性 24.9%、女性 31.9%)となっている。



- 「自分は取り残されていると感じることがある」かどうか男女別にみると、女性の方が男性よりも全くないとする割合が高く、「決してない」(男性 26.2%、女性 32.8%)となっている。ただし、「ほとんどない」(男性 40.9%、女性 34.4%)とあわせてみると、男女間ではほとんど差が見られない。



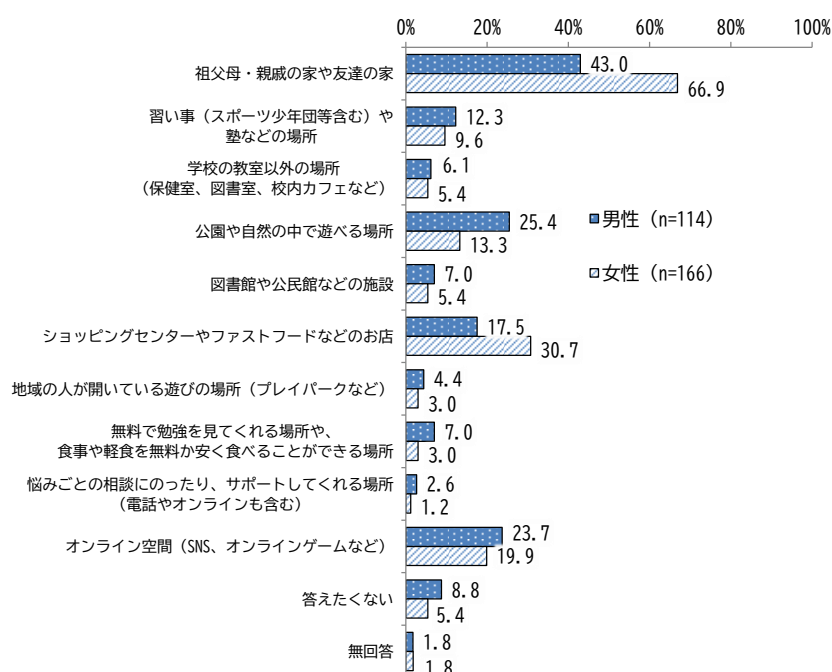
- 「自分は他の人たちから孤立していると感じることがある」かどうか男女別にみると、男性の方が女性よりも頻度が高く「ほとんどない」(男性 28.7%、女性 38.1%)、「時々ある」(男性 24.5%、女性 19.7%)、「常にある」(男性 5.9%、女性 5.6%)に対して、「決してない」(男性 28.7%、女性 38.1%)となっている。



(4) 居場所

問 11-1 そこは、どのような場所ですか。(あてはまるものすべてに○)

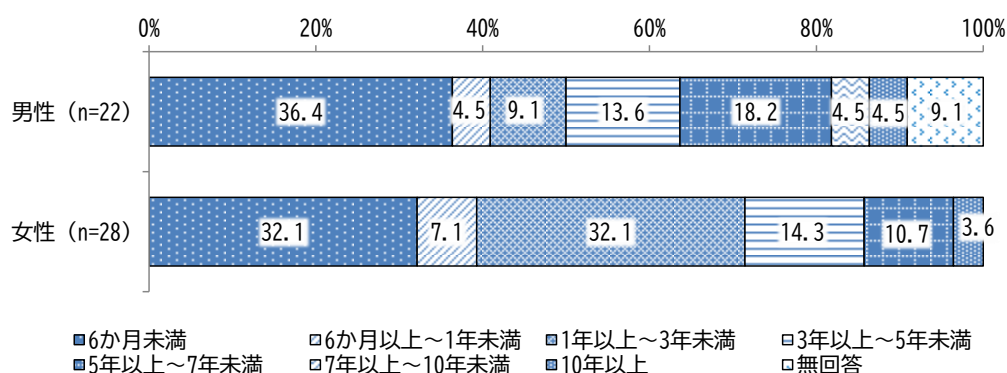
- 家や学校・職場以外に「ここに居たい」と感じる居場所について男女別にみると、回答率が高いもののうち、「祖父母・親戚の家や友達の家」(男性 43.0%、女性 66.9%)、「ショッピングセンターやファストフードなどのお店」(男性 17.5%、女性 30.7%)がそれぞれ女性の割合が高い。一方で、「公園や自然の中で遊べる場所」は、男性 25.4%、女性 13.3%と、男性の割合が高くなっている。



(5) 外出状況

問 12-1 外出状況が現在の状態となって、どのくらい経ちますか。

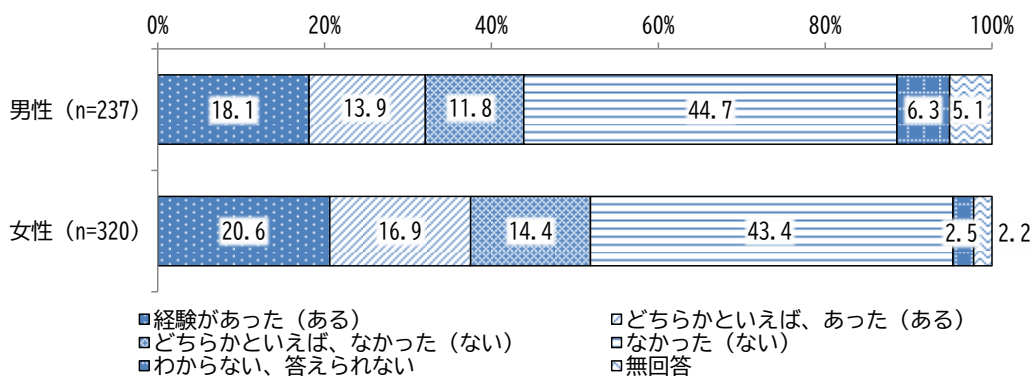
- 「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と回答した人に外出状況が現在の状態になってからどのくらい経つか男女別にみると、「6 か月未満」の割合は男性 36.4%、女性 32.1%となっている。女性は「1 年以上～3 年未満」の割合も 32.1%と高く、1 年以上とした割合をみると、男性 50.0%、女性 60.7%となる。



(6) 社会生活・日常生活

問 13 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験や、現在送れていない状況がありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

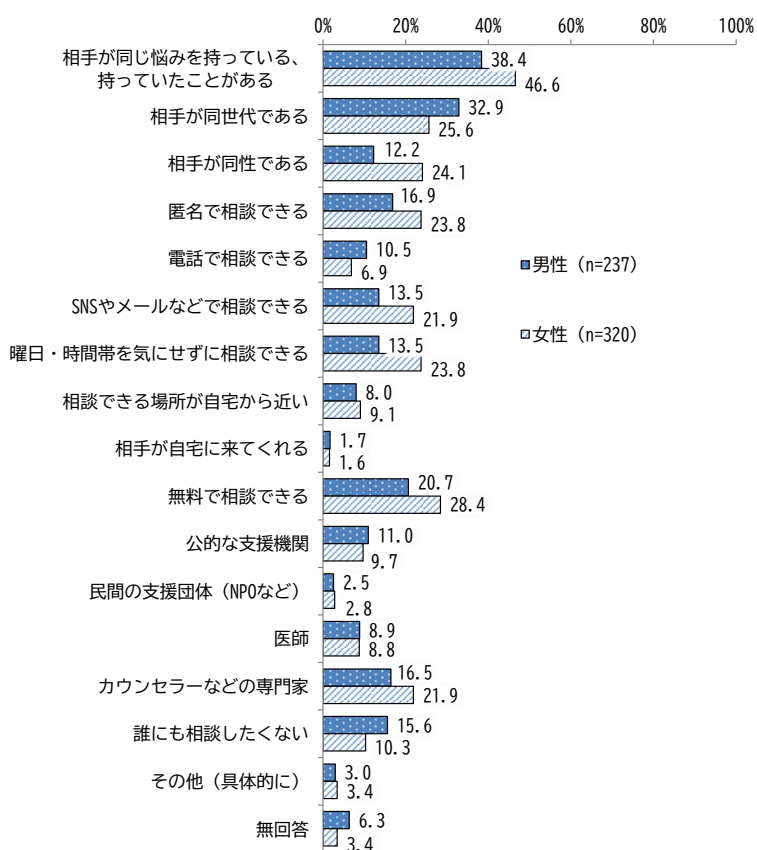
- 困難な状況の経験について男女別にみると、女性の方が経験した割合が高く「経験があった(ある)」(男性 18.1%、女性 20.6%)、「どちらかといえば、あった(ある)」(男性 13.9%、女性 16.9%)となっている。



問 14 あなたが、社会生活や日常生活を円滑に送ることができない状態となったとき、家族や知り合い以外に、どのような人や場所なら、相談したいと思いますか。

- 男女別にみると、いずれも「相手と同じ悩みを持っている、持っていたことがある」(男性 38.4%、女性 46.6%)の割合が最も高いものの、女性の方がより高い。そのほか「相手が同性である」(男性 12.2%、女性 24.1%)に関しても女性にとっての重要度が高いとみられる。

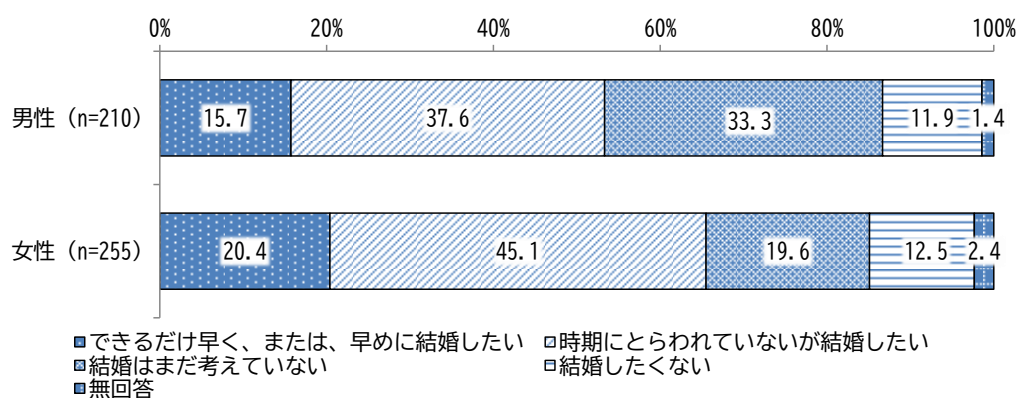
また、匿名性や即応性の高い手段に関しても女性の割合が高く、「匿名で相談できる」(男性 16.9%、女性 23.8%)、「SNS やメールなどで相談できる」(男性 13.5%、女性 21.9%)、「曜日・時間帯を気にせずに相談できる」(男性 13.5%、女性 23.8%)となっている。



(7) 結婚・出産

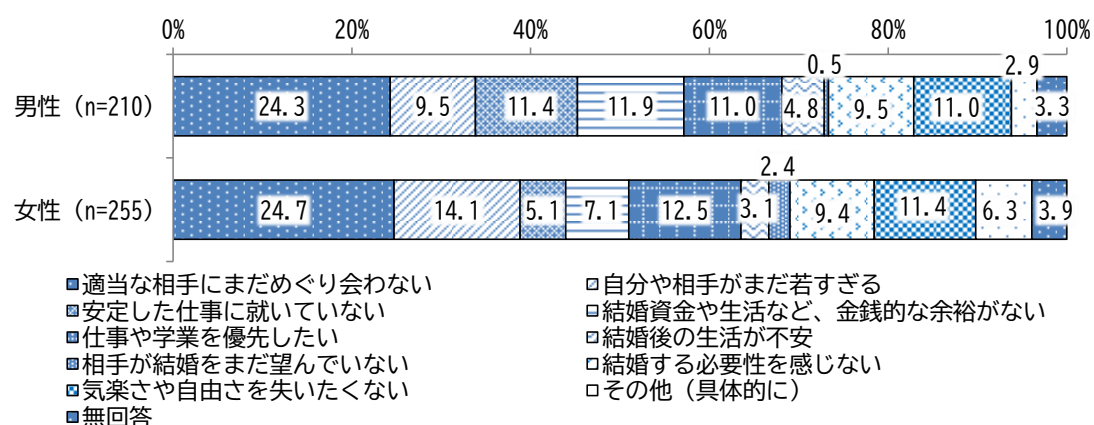
問 15-1 あなたの結婚に対するお考えについて、教えてください。

- 現在結婚していない人を対象とした結婚に対する考えについて男女別にみると、結婚に前向きな回答である「できるだけ早く、または、早めに結婚したい」については男性 15.7%、女性 20.4%、「時期にとらわれていないが結婚したい」については男性 37.6%、女性 45.1%といずれも女性が高い。また、結婚への意欲が無い「結婚したくない」についても男性 11.9%、女性 12.5%と女性の方がわずかに高くなっている。



問 15-2 独身でいる理由として、もっともあてはまるものを教えてください。

- 結婚していない理由について男女別にみると、「安定した仕事に就いていない」については男性 11.4%、女性 5.1%、「結婚資金や生活など、金銭的な余裕がない」については男性 11.9%、女性 7.1%と、結婚後の生活基盤に関する回答は男性の割合が高い。

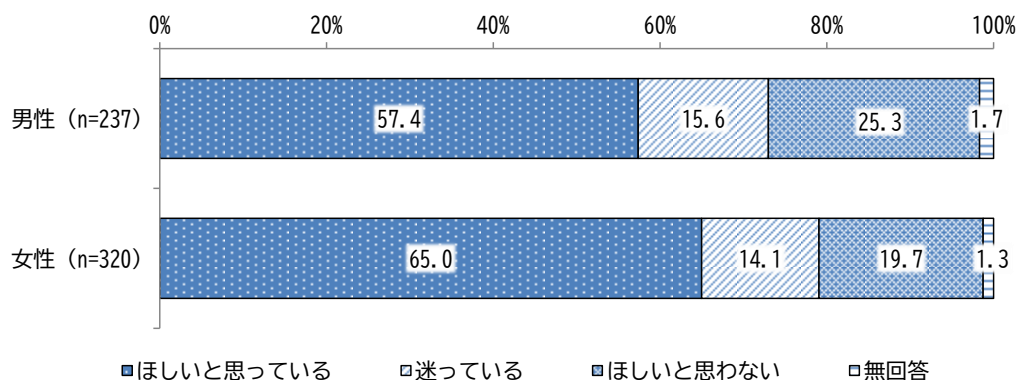


問 16

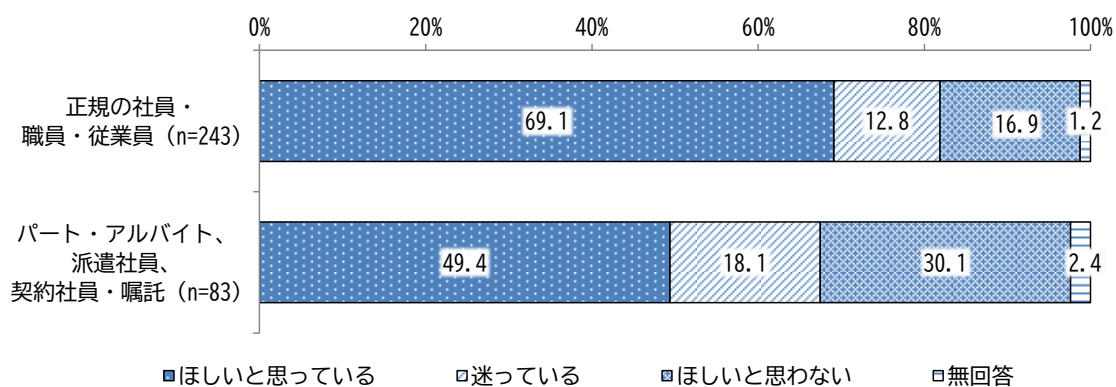
今後、子どもをほしいと思いますか。

子どもがいる方は、もっとほしいかどうかでお答えください。

- 今後、子どもを欲しいかどうかについて男女別にみると、「ほしいと思っている」については男性 57.4%、女性 65.0%と女性の方が高く、「ほしくないと思わない」については男性 25.3%、女性 19.7%と、女性の方が低い。



- 同じ設問について就業形態別にみると、「ほしいと思っている」については正規の社員・職員・従業員 69.1%、パート・アルバイト、派遣社員、契約社員・嘱託 49.4%であり、「ほしくないと思わない」については正規の社員・職員・従業員 16.9%、パート・アルバイト、派遣社員、契約社員・嘱託 30.1%という結果となった。

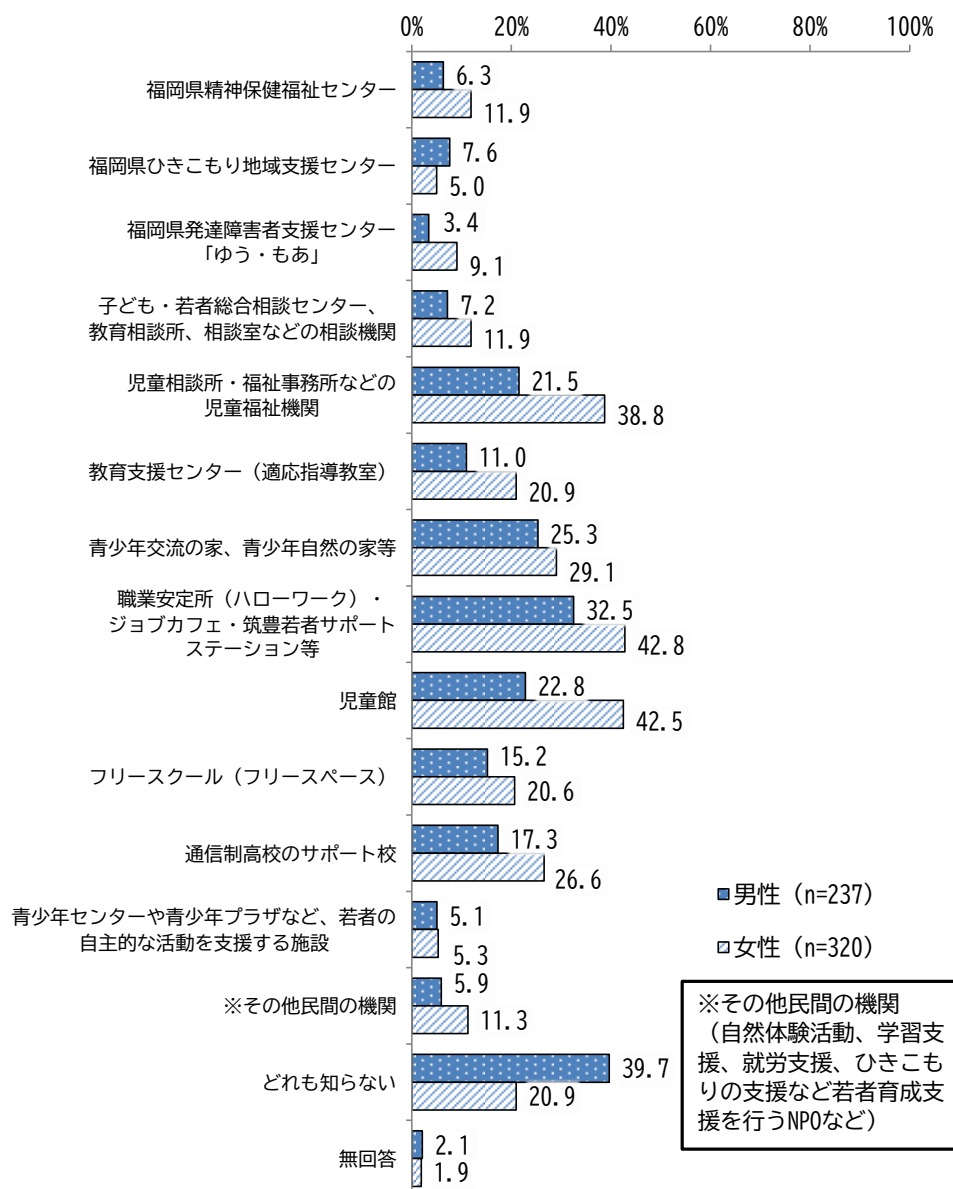


(8) 育成支援機関等の認知度や利用希望

問 17

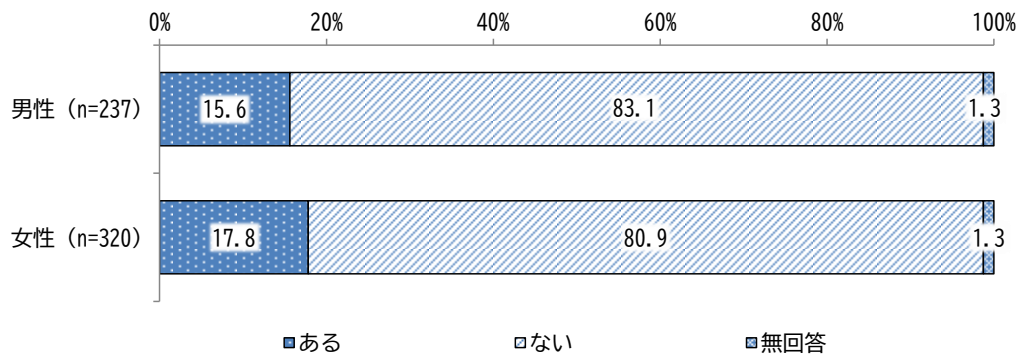
あなたは、こども・若者を対象とした育成支援機関等を知っていますか。
知っている育成支援機関等を選んでください。

- 育成支援機関等の認知度について男女別にみると、全体的に女性の認知度が高く、特に「職業安定所（ハローワーク）・ジョブカフェ・筑豊若者サポートステーション等」（女性 42.8%）、「児童館」（女性 42.5%）、「児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関」（女性 38.8%）については認知度が 4 割前後である。一方で、男性の回答で最も割合が高いのは「どれも知らない」（男性 39.7%）という結果になった。



問 18 これらの機関を利用したことはありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 育成支援機関等の利用経験について男女別にみると、わずかに女性の割合が高いものの、8割前後の人は利用経験がない、という回答となっている。



問 18-1 これらの機関について利用したいと思いますか。

- 育成支援機関等の利用意向について男女別にみると、女性の利用希望割合が高く、「利用したい」(男性 6.1%、女性 8.1%)、「どちらかといえば利用したい」(男性 25.9%、女性 34.4%)となっている。一方で、「利用したいと思わない」(男性 39.1%、女性 27.8%)については、男性の割合が低くなっている。

